

第4期（平成30年4月～平成31年3月）



まつもと子ども未来委員会 活動報告集



松 本 市

目 次

I	はじめに	1
II	第4期「まつもと子ども未来委員会」実施要項	2
III	第4期「まつもと子ども未来委員会」委員	3
IV	委員会開催状況	4
V	活動内容	
1	活動のテーマ決め	5
2	市内見学会	6
3	テーマに関する学習・活動	8
4	市議会出前講座・意見交換会	12
5	市長提言	15
6	市の施策への協力	20
7	次期委員会に向けた活動	22
VI	先進都市との子ども交流事業	
1	札幌市・奈井江町との子ども交流事業	24
2	子どもの権利条約フォーラム 2018 in とちぎ	26
VII	その他参加者の興味・関心のある事業	
1	レゴブロックで作った世界遺産展	27
2	学都松本フォーラム	27
3	チャオ！バンビーニ	28
VIII	資料	
1	提言に使用したスライド	30
2	次期委員募集チラシ	36
3	子ども交流事業参加者感想文	38
4	子ども交流事業報告模造紙	54
5	未来委員会初回アンケート結果	58
6	未来委員会最終回アンケート結果	61
7	未来委員会保護者向けアンケート結果	66
8	関連する新聞記事	69

I はじめに

○ 松本市子どもの権利に関する条例 前文（一部抜粋）

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

「松本市子どもの権利に関する条例」を施行してから5年が経ちました。少子化が社会的な問題となって久しい昨今、多くの自治体が少子化対策として「子育て支援」に取り組む中、本市では、条例に基づき、「子どもの権利」という視点で、子ども自身の育ちに関わる「子ども支援」にも力を入れて取り組んでいます。こうした取り組みは、他市ではまだまだ進んでいない分野でもあることから、有識者からは「ある意味チャレンジだ」とも言われています。

その取り組みの一つが、まつもと子ども未来委員会です。未来委員会では、年齢も住んでいる地域も違う子どもたち自らが、松本のまちづくりについて考え、話し合い、活動しており、交友関係を広げながら子どもの意見表明・社会参加を促進しています。それだけでなく、こうした取り組みは、子どもたちが自らの意見を表明し、それを受け止めてもらえること、相手の意見に耳を傾け、受け止められるようになることで、自己肯定感を育むことや、子ども自身の育ちにもつながると考えています。

日頃、市民の皆様から本市の施策にご理解、ご協力いただいていることもあり、近年、本市は、民間の調査機関から、成長の可能性等を全国的に高く評価されています。そうした中で、今期の未来委員会では、「今よりもっといい松本を作ろう！」というテーマを考え、活動してくれました。未来委員会の皆さんが見つけた「もっといい松本」にするための方法を、できることから実践し、全国で最も魅力的な都市と言われるような「今よりもっといい松本」を、大人も一緒に目指していきます。

「子どもの権利」の取り組みは、なかなか他の自治体に広がらない現状があります。未来委員会のように、子どもたちが本来持っている力を発揮し、成長していく場が広がっていくこと、そうした場で活躍する子どもたちの力に大人が気付くことをとおして、「子どもの権利」に関する取り組みが、県内外に更に広がっていくことを期待しています。

松本市長 菅谷 昭

Ⅱ 第４期「まつもと子ども未来委員会」実施要項

1 趣 旨

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため、まつもと子ども未来委員会を開催するものです。

2 内 容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考えます。

3 対 象

松本市内在住・在学又は市内で活動をしている１０歳（小学４年生）から１７歳（高校２年生相当）まで（おおむね３０人程度を予定）

4 活動期間

平成３０年４月～平成３１年３月

5 主な事業

(1) 子ども未来委員会の開催と活動発表

ア 学習会 １５回開催 ４月から３月までの間、１カ月に１～２回程度開催

イ 施設見学会 ２回開催 ６月

ウ まちづくりについて市に提言 ８月

エ 子どもの権利フォーラムで活動発表 １１月

(2) 他都市との子ども交流事業に参加

ア 札幌市・奈井江町との子ども交流事業（札幌市） ８月

イ 全国自治体シンポジウム（宗像市） １０月

ウ 宗像市・福津市との子ども交流事業（松本市） １月

(3) 委員の興味・関心のある事業に参加・実施

ア 学都松本フォーラムへの参画 ９月

イ チャオ！バンビーニへの参画 １１月

ウ その他委員会で実施を決定したもの

6 参加者募集方法

(1) 市内小中高校へ募集チラシとポスターを配布

(2) 松本市公式ホームページに掲載

(3) ３月１日号広報まつもとで募集

Ⅲ 第4期「まつもと子ども未来委員会」委員

1 総数 32名

2 内訳

学 校		男 子		女 子	
小学生 19名	5年生 7名		0名	開智、鎌田、芳川、梓川	7名
	6年生 12名	開智、旭町、島立、芝沢、 芳川、山辺、明善、四賀	9名	筑摩、梓川、附属	3名
中学生 12名	1年生 7名	高綱、山辺、梓川、秀峰	5名	筑摩野、波田	2名
	2年生 2名		0名	松島、筑摩野	2名
	3年生 3名		0名	松島、秀峰	3名
高校生 1名	2年生 1名	深志	1名		0名

3 名簿 (50音順、◎委員長 ○副委員長)

学 校	氏 名
小学生	青山 飛眞、浅井 悠衣華、○阿部 康介、市川 真帆、井籠 莉乃、内川 和香、 上條 未翔、小手川 悠人、澁谷 綸、菅原 彩奈、高田 莉子、滝澤 智貴、 千野 大樹、中澤 愛叶、永本 涼夏、橋本 昂賢、藤川 翠、藤崎 悠理、宮島 陸
中学生	糸井 豊哲、大槻 幸貴、小澤 樺音、小野 結羽、◎木島 凜太郎、胡桃澤 実彩、 ○鈴木 柚葉、滝沢 夏菜、永本 夏樹、西沢 知彦、○根本 怜奈、古屋 采音
高校生	楠 裕人

Ⅳ 委員会開催状況

回	期 日	内 容
1	4月22日（日）	オリエンテーション
2	5月13日（日）	正副委員長決め、テーマ決め
—	5月27日（日）	市内見学（ごみ拾い活動）（松本城、縄手通り、市立博物館等）
3	6月10日（日）	活動内容検討
—	6月17日（日）	市内見学（ごみ拾い活動）（上高地）
4	7月 8日（日）	ごみ問題について学習、ごみ拾い活動の計画
5	7月22日（日）	ごみ拾い活動
6	8月 9日（木）	市議会出前講座、市議会議員との意見交換会
7	8月26日（日）	交通ルールについて学習、札幌子ども交流事業の報告
8	9月 9日（日）	行政相談委員出前講座、提言準備（グループ分け）
—	9月23日（日）	学都松本フォーラム（分科会「楽しい学校ってどんなところ？」）
9	9月29日（土）	提言準備（グループ分け）
10	10月14日（日）	提言準備（原稿作り、発表練習（プレ提言））
11	10月28日（日）	提言準備（資料作り、原稿作り）
—	11月 3日（土・祝） ～4日（日）	子どもの権利条約フォーラム2018 in とちぎ
12	11月11日（日）	提言準備（資料作り、原稿作り、発表練習）
臨時	11月18日（日）	提言準備（発表練習）
—	11月23日（金・祝）	チャオ！バンビーニ（「ねこはしる」開演前パフォーマンス）
—	11月25日（日）	提言本番（第35回松本市青少年健全育成市民大会・「松本子ども権利の日」市民フォーラム）
13	12月 9日（日）	提言のふり返し、松本市こどもにやさしいまちづくり委員会との意見交換会
14	1月20日（日）	委員会のルール作り、来期委員会に向けた募集方法の検討
15	2月 3日（日）	公共施設再配置計画について、委員募集チラシ作り
16	2月24日（日）	委員募集チラシ作り
17	3月10日（日）	委員会のルール作り、まとめ

V 活動内容

1 活動のテーマ決め

第4期委員会では、話し合いだけでなく、実際に活動することをおして、まちづくりについて考えていくことにしました。そこで、第2回委員会で、活動の内容を考え、内容のイメージが固まってから、活動テーマを決めることにしました。

(1) 松本の「いま」を考える

松本の「いま」を考え、委員が取り組みたいと思う活動、取り組むべきだと思う活動を絞り込むため、松本の良い所、悪い所、必要な取組み、取組みの結果期待できる効果を考えました。

	① 良い所	② 悪い所	③ 必要な取組み	④ 期待できる効果
PR	外国人が多い。	観光客に分かりやすい看板がない。	観光客向けの看板やポスターなどを作る。	観光客が松本のことをくわしく知ることができる。
	外国人観光客が多い。	市街地以外の観光地の看板や案内が少ない。	松本アンバサダーを募集	松本のいろんな観光地を知ってもらえる。
環境	公園がたくさんあって、子どもが楽しく遊べる。	公園のトイレが汚い。 ゴミが落ちている。	公園のトイレそうじ 公園のゴミ拾い	子どもがさらに楽しく遊べる。
	松本城は国宝	ゴミがある。	ゴミ拾い	松本城がきれいになる。
	昔の建物がある。	ゴミや汚れがある。	そうじをする。	建物をきれいに残せる。
マナー	自然が美しい。	交通マナーが悪い。	交通ルールを守るようによびかける ポスターを作りたい。	事故を減らせる。 安全に暮らせる。

(2) 活動内容の検討

(1)をもとに、活動内容を改めて話し合い、次の3つが提案されました。

- ・ 観光客向けの、マナー向上ポスター・パンフレットを作り
- ・ ごみ拾い活動
- ・ 募金活動

この3つのうち、多数決で優先順位をつけ、ごみ拾い活動、ポスター・パンフレット作り、募金活動の順で取り組むことにしました。

(3) 活動のテーマ

活動内容をもとに、どんなテーマで活動していくかを話し合いました。

まず、テーマのキーワードを出し合い、そこからテーマを考えてみることにしました。

【委員から発案されたキーワード（一部）】

- ・ 松本 ・ 美しい ・ 大切 ・ 自然 ・ Matsumoto
- ・ 国際性 ・ 暮らしやすく ・ もっと知ろう ・ 地域に貢献
- ・ 来たくなる ・ 住みやすい

【キーワードをもとに考えたテーマ】

- ① もっといい Matsumoto を作ろう！
- ② 今よりもっといい松本を作ろう
- ③ 松本をもっときれいにし、観光客を増やそう
- ④ Matsumoto を活性化し、住みやすく、来たくなる、豊かな場所にしよう
- ⑤ いろんな世代が暮らしやすくなるような松本を創り上げよう
- ⑥ まいにち少しずつ つみかさねを大事に もっとよい町に とともに

①から⑥の案で多数決を行った結果、②を選ぶ委員が最も多かったため、委員会のテーマは、②に「！」をつけて、「今よりもっといい松本を作ろう！」になりました。



2 市内見学会

松本市について学び、理解し、活動を更に深めるため、松本市の歴史や文化、自然等について、市内の見学を行いました。今期は、散策に合わせてごみ拾い活動を行いました。

(1) 第1回（まちなか散策（松本城、縄手通り、中町通り等）、市立博物館）



【委員からの感想】

- 見学場所・内容について
 - ・ 仕事でお金をもらうのではなく、ボランティアで松本城のことを他県や外国の人に伝えている人たちがすばらしいと思う。
 - ・ 外国人観光客がたくさんいた。
 - ・ 市立博物館は、戦争していた時代のことや文化のことなど、昔のことがいろいろ展示されていて心に残った。
 - ・ 中町通りは車が多く、事故が起きないか心配だった。
- ごみについて
 - ・ 縄手通りはごみが少なかったが、広場になっているところにはたくさん落ちていた。
 - ・ 松本城には人がたくさんいたが、城内にはごみはひとつも落ちていなかった。
 - ・ ごみが落ちている場所は、どうしてそこに落ちているのか、理由があると思う。
 - ・ 落ちていたごみは、紙類が多かった。
 - ・ 見学のときだけではなく、普段の委員会でごみ拾いをした方が良い。
- これからの活動に活かせること
 - ・ ごみが落ちているということは、観光客が多い証でもあるが、マナーを守れていないということだと思う。
 - ・ ごみを自分で拾うことが身につくようにしたほうが良い。
 - ・ ごみが落ちていない場所が多い分、ごみが落ちている場所は目立ってしまう。

(2) 第2回（上高地での環境保護学習、上高地散策）



【委員からの感想】

- ・ 動物に荒らされないための工夫として、ごみ箱の蓋が重くしてあった。
- ・ 水がきれいで澄んでいた。
- ・ 川原の砂を30cmくらい掘ってみたが、水は出なかった。水を引き出すのには大変な苦労があると思った。
- ・ 風穴の仕組みが知りたい。

3 テーマに関する学習・活動

(1) ごみ問題に関する学習

委員会が進行していくなかで、「もっとごみ拾い活動に集中して取り組んだ方が良い」という意見が出され、今期は他の活動よりもごみ拾い活動に集中して取り組むことになりました。

集中的なごみ拾い活動に向けて、松本市の環境問題について、市役所環境業務課の職員を講師として学習会を行いました。ごみの分別の仕方のほか、次のことを学習しました。

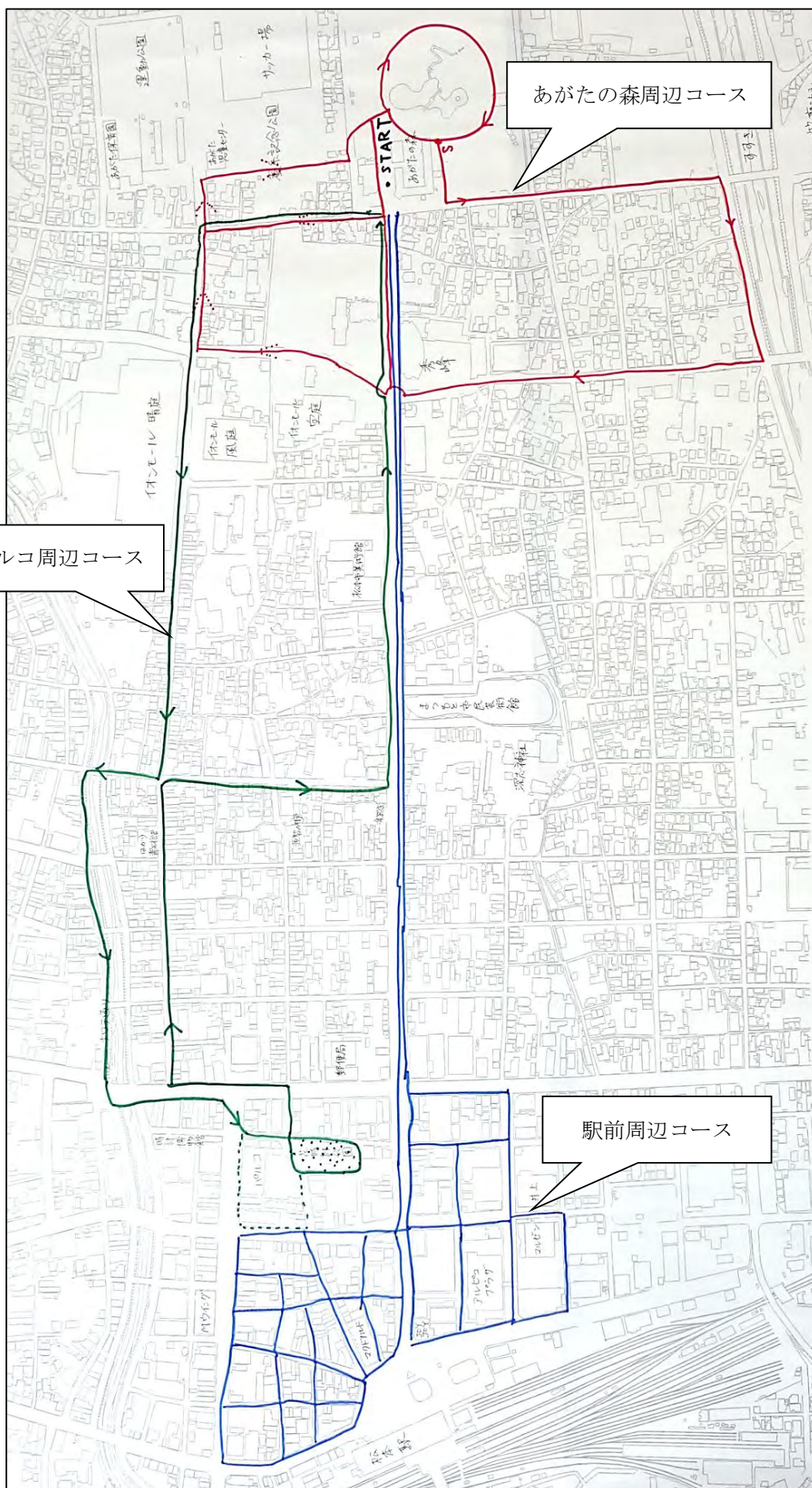
- ・ 不法投棄は、川沿いや山の中に多い。
- ・ 松本市のごみの量は、昭和40年頃、冷蔵庫やプラスチックの普及により増えているが、平成17年頃に出版物がデジタル化されるようになってからは、少しずつ減っている。
- ・ 長野県は、ごみを出す量が少ない都道府県ランキングで3年連続日本一。
- ・ 長野県の中で、松本市はごみの量が6番目に多く、県内の「市」の中では最も多い。
- ・ ごみをただ捨てていると、ごみ処理のお金がかかったり、最終処分場が足りなくなったり、異常気象の原因になったりするので、ごみを減らし、資源として活用することが必要。
- ・ ごみを減らすには、Reduce、Reuse、Recycleの3Rが重要。

学んだことをごみ拾い活動に活かすため、ごみ拾い活動を安全に、気持ち良く行うために、ごみ拾いのルールを決めました。

- ・ 市民の人、観光客の人に元気よくあいさつをする。
- ・ ごみの分別ルールや交通ルールを守る。
- ・ 勝手にお店の中に入ったり、公園で遊んだりしない。

あがたの森周辺、パルコ周辺、駅前周辺の3つのグループに分かれることにし、コースを次頁のとおり決定しました。





あがたの森周辺コース

パルコ周辺コース

駅前周辺コース

(2) ごみ拾い活動

作成したコースで、ごみ拾い活動を実施しました。



活動終了後、振り返りを行ったところ、下記のとおり意見が出されました。

【ごみが落ちていた場所について】

- ・ ベンチの下や花壇の中、狭い道、建物と建物の間などの見えにくいところ
- ・ 店のまわりや喫煙所、駐車場など人が立ち止まる場所 など

【どんなごみが多かったか】

- ・ たばこの吸い殻
- ・ ペットボトルや空き缶 など

【ごみをなくすにはどうしたら良いか】

- ・ ごみ箱を設置する
- ・ ポスターで呼びかける など

【ごみ問題以外で気が付いたこと】

- ・ 交通ルールを守らない人がいた（自転車の右側通行、歩行者の信号無視など）

(3) 交通ルールに関する学習

市内見学やごみ拾い活動の際に、松本市の交通マナーが悪いという意見が上がったほか、新聞のコラムに松本の交通マナーが悪いと書かれていたことを受け、松本市交通安全・都市交通課の職員を講師として、交通マナー、交通ルールについての学習会を開催し、次のことを学びました。

【自転車について】

- ・ 松本市内の自転車事故のうち、けがをした人がいた事故の数は約8,000件。けがのない事故の数は、その7倍とも言われている。松本市の自転車事故は、県内でも多い。
- ・ 小学生から高校生までの子どものうち、自転車事故が一番多いのは高校生。特に、高校1年生の事故は、新生活に馴染んできた5月～6月が多い。
- ・ 自転車事故の原因のほとんどが、車ではなく、自転車に乗っている人のルール違反。
- ・ 自転車は車に分類されるので、ルールが多く難しいが、ルールが分からなくなった時は、自転車から降りて、「歩行者」になると良い。

【自動車（松本走り）について】

- ・ 「松本走り」とは、松本の運転マナーの悪さを言う言葉で、例えば、対向車があるのに、強引に右折すること、信号が青に変わる直前に発進し、先に右折してしまうことを言う。
- ・ 「松本走り」の原因は、譲り合いの気持ちの欠如や、右折ドライバーの「早く右折しなければ後続車に迷惑がかかる」という遠慮の気持ち。

【まとめ】

自転車の事故も「松本走り」も、改善するには「ゆずり合い」が大切。まだ車を運転できない子どもでも、自転車を「運転する」ときに、自分の命を人任せにしないで、「止まる・見る・がまんする」を合言葉に、自分で安全確認することが大切。

続いて、交通マナーの向上について意見交換を行い、次のような意見が出されました。

【良いところ】

- ・ ゆずり合い運転ができている人もいる。

【悪いところ】

- ・ 横断歩道で手を挙げても車が止まってくれない。
- ・ 横断歩道ではないところを渡る人がいる。
- ・ 車からタバコの吸い殻などをポイ捨てする人がいる。

【マナーを良くするために市や大人にしてほしいこと】

- ・ 一人一人の意識を向上するために、市からの呼びかけを増やす、パンフレットを配る（配る場所を工夫する）、学校などでの交通安全講習会を増やす（勉強したことは、子どもから保護者に伝える）。
- ・ 「〇〇すると罰せられます。」などの看板を立てる。
- ・ ティッシュ配りをする。

【マナーを良くするために子どもたちでもできること】

- ・ 交通ルールやマナーを守る。
- ・ 家族や友だちがルール違反をしていたら、注意する。
- ・ ポスターを作る。



(4) 行政相談員出前講座

まちづくり学習の一環として行政相談員の出前講座を受講し、下記のことを学びました。

- ・ 「行政」とは、国、都道府県、市町村の役所のこと（松本市では、「松本市役所」）で、みんなが共同で使うものを作っているほか、無料（または安価）でないと困る仕事をしている（例：通学路を通る度に通行料をとられたら困るので行政が道路を管理する）。
- ・ 水道の管理は水道局、道路の整備維持は国・県・市、学校教育は松本市教育委員会など、「行政」は毎日の生活に関わっている。
- ・ 赤ちゃんが生まれたときには市町村に出生届を出す、結婚したときは市町村に婚姻届を出す、家を建てたときは法務局に届け出る、年金をもらうときは年金事務所で手続きするなど、人の一生にも「行政」が関わっている。
- ・ 行政相談委員とは、「行政」について、相談を受け、解決のために活動してくれる人のこと。例えば、これまでに、自転車がスピードを出して危険な坂道があるとの相談を受け、スピードの出しすぎに注意する看板を設置したり、歩道橋のコンクリートが剥がれていて危ないとの相談を受け、きれいに直してもらったりしている。

4 市議会出前講座・意見交換会

まちづくり学習の一環として、市議会出前講座と意見交換会を行いました。市議会からは、広報部会に所属する議員9名が参加しました。

(1) 学習会

まず、5グループに分かれて、市議会の仕事や仕組みについて、次のとおり学習しました。

- ・ 水道や学校、図書館などの管理と運営は「松本市」の仕事。松本市の仕事を、市民全員で話し合うことはむずかしいので、学校の学級長やクラス委員がクラスの代表として話し合いをするように、議員は、市民の代表として選挙で選ばれて、話し合いをしている。
- ・ 議員は、市の仕事が正しく行われているかチェック、松本を良くするための提案などをしていて、市民の意見をよく聞いて活動している。
- ・ 松本市には、31人の議員がいて、そのうち女性は8人、男性は23人いる。
- ・ 市に頼み事があるときは、請願や陳情という方法で、誰でも市議会に意見を出すことができる。



(2) 議場見学

続いて、議場見学を行いました。議長席などから議場がどのように見えるのか、実際に着席させてもらうなど、議場の雰囲気を味わいながら、次のことを学びました。

- ・ 議場では、理事者（市長など）と議員とが向かい合うように座る。
- ・ 議員の席順は、後ろの席ほど、長い間議員をつとめている人になっている。
- ・ 議場の中心にある演台で話している人の顔がよく見えるように、モニターが設置されている。
- ・ 議会を見たい人は、だれでも傍聴席から議会を見ることができる。



(3) 意見交換

最後に、グループごとに「今よりもっといい松本」を作るには、どうしたら良いかをテーマに意見交換を行いました。「あこがれの松本」の姿を考え、どうしたらその姿に近づけるのか、分からないことは議員に教えてもらい、考え方のヒントをもらいながら意見交換を進めました。

班	あこがれのまち	そのためにどうしたらいいか
1	緑を増やす→みんなが幸せになる 市民や観光客が緑を楽しめる	プランターを設置する。 公共施設やまちなかに木を植える。
2	自然豊かなまち 交通ルールが守られているまち 交通の便がいいまち 安心して暮らせるまち 住みやすいまち	まちなかに花を増やす。 道路を広くする。
3	世界一きれいなまち松本	道が狭くて危ないので、広げる。 ごみ箱を置く。 空港や駅で観光客に配るパンフレットに、ごみを捨てないように書く。
4	自然と共存できる松本 豊かな自然を後世に残せるまち松本 市民がごみ分別を理解できる松本 みんなが意識してきれいにできる松本	【自然】各家庭で一鉢運動を行う。 マツクイムシの薬をまく。 【ごみ】ごみ分別のチラシをつくる。 学校でごみの分別を教える。 ごみ拾い運動を定期的に地域で行う。

班	あこがれのまち	そのためにどうしたらいいか
	世界中に知ってもらえる松本 市民や観光客に喜んでもらえる松本	【観光】国ごとの松本のパンフレットを作る。 外国語の松本PR動画を作る。 SNS 映えスポットを作る。
5	美しい松本 ・今の松本の良いところ：住みやすい、花がいっぱいある、山にかこまれている、水を飲む場所が多い ・今の松本の悪いところ：ごみのポイ捨てがある	ごみ拾い登校を広める。 ごみのポイ捨てが多いので、お店などにポスターを貼る(外国人向けに、イラストでわかりやすく)。

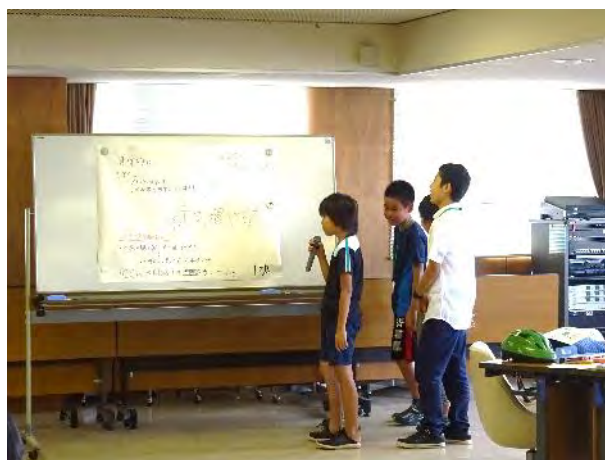
(4) 委員からの感想

【出前講座について】

- ・ 議員は市民の意見を大切にしていることが分かった。
- ・ それぞれの委員会について、もっとくわしく知りたいと思った。
- ・ 請願と陳情の意味を知ることができた。お願いがあれば、国籍や年齢に関係なくできると聞いて、おどろいた。
- ・ 議員の仕事は、未来委員会と似ていると感じたり、違うと感じたり、市議会の仕事を知ることができた。

【意見交換会について】

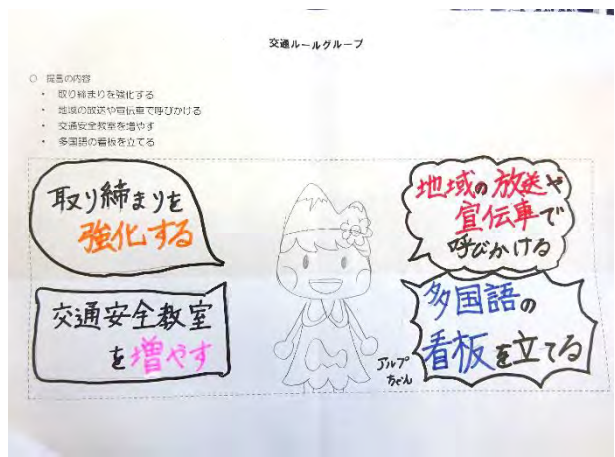
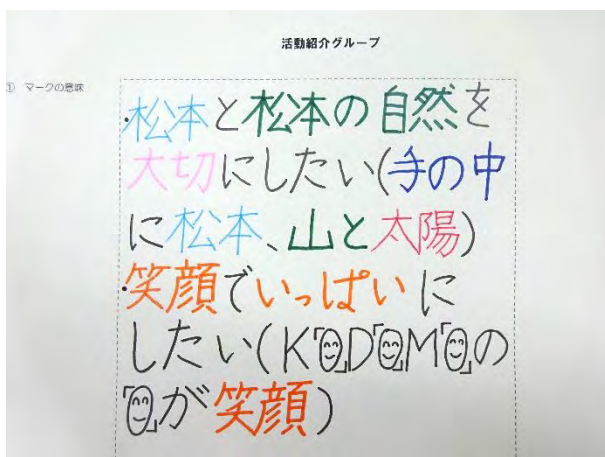
- ・ 緑を増やしたいという意見が多かった。
- ・ ポイ捨て禁止の条例があることが分かったが、あまり知られていないので、もっと広めてほしい。
- ・ 普段考えられない大人目線での意見を聞いた。議員さんだからわかる話や、議員の意見から新発見があった。
- ・ 「ごみ拾い登校」が気になった。
- ・ 本当にごみ箱は設置できるのか考えたい。



5 市長提言

(1) 準備

これまでの活動をもとに、11月25日（日）に行う市長提言に向けて、「活動紹介」「ごみ問題の提言」「交通ルール」の3グループに分かれて発表内容のまとめや発表練習等を行いました。



(2) 市長提言

第35回松本市青少年健全育成市民大会・「松本子どもの権利の日」市民フォーラムにおいて、市に提言を行いました。

ア 日時 11月25日（日） 午後1時30分～3時45分

イ 会場 松本市勤労者福祉センター 大会議室

ウ 出席者 まつもと子ども未来委員会 委員22名

松本市長、松本市教育長、環境部長、こども部長、交通安全・都市交通課長
（ほか、一般参加者（観覧者）約200名程度）

※ 提言の内容（使用したスライド）については、30～35ページのとおり



(3) 市からのコメント

提言に対し、市長を始め、市関係部課長から次のとおりコメントをもらいました。

ア 市長

- ・ 松本のことを真剣に考えてくれたみんなが、これからの松本を背負ってくれることを、うれしく思います。提言に対する細かい部分は、担当している部長や課長からのコメントのとおりです。話のあったとおり、できることから始めていきたいと思います。
- ・ ごみ問題について、観光客は、松本を「クリーン・シティだ」と言います。ごみのポイ捨てに気が付いたみんなは意外だと感じると思います。私も、「松本はきれいなまちなのでなく『市民がきれいにしているまち』だ」と言い直すようにしています。

- ・ 交通ルールの問題について、「松本走り」という言葉がありますが、本当は松本だけの問題ではなく、他のまちでも同じようなルール違反の問題があるようです。ただ、松本の場合は城下町なので道がせまく、複雑になっています。道を広げるのはとても大変なので、まちの中は、車ではなく、公共交通機関を使ってもらうように進めています。
- ・ 自転車の事故も問題になっています。特に、高校生は、スマホを使ったり音楽を聞いたりしながら自転車を運転していることもあり、事故が多いです。交通事故にあうと、体に麻痺が残ることや死んでしまうこともあります。日本は、ただでさえ子どもが少なくなっているのに、事故のせいで子どもが健康でいられなくなることは、別の大きな問題にもつながります。大人も気をつけますが、事故にあわないよう、自分でも気をつけてほしいと思います。
- ・ 提言してくれたことを、ゆっくりでも粘り強く進めていくことは、市民にも観光客にも魅力的なもっという松本を作ることにつながると 생각합니다。自分が住むまちに誇りを持つには、大人も子どもも自分の問題として意識し、責任を持って行動することが大切です。
- ・ 実は、松本は、全国的にも評判が良いまちです。民間の調査機関によると、東京や大阪などの大きなまちもあるなかで、松本は昨年、全国で8位でした。今年は13位で、「生活や居住」「環境」というテーマだけで見ると2位です。提言された問題を直せば1位になるだろうと思います。そうしたら、一度松本から出たとしても、松本に戻ってきてください。

イ 教育長

- ・ まず、未来委員会に自分で参加してみようと思い、行動してくれたことが素晴らしいと思います。新しい人と新しいことを学び合うことはとても大切です。これからも、自分で行動して、考えられる人になってほしいと思います。
- ・ ごみ問題については、目の前のことからもっと奥にあることを少しずつでも探っていただきたいと思います。プラスチックごみが海に流れ着いてしまう話がありましたが、これは、海で起きている遠い問題ではなく、身の回りの川や山から汚染は始まっているのです。
- ・ 交通ルールについても、横断歩道が少ないなど、車中心の社会で、人として暮らしにくいところがあると思います。しかし、これからは人間中心の社会に変わっていくだろうと思うので、自分たちがどう参加していくかを考えてほしいと思います。
- ・ 今回提言してくれた2つのことは、学校や地域でも話し合ってみてほしいと思います。松本は、市民全員で良いまちを作るように取り組んでいます。みんなのような人がまちづくりに加わってくれば、心強いと思っています。

ウ 環境部長

- ・ ごみ問題は生活の一部ではありますが、奥が深い問題で、特にポイ捨ては昔からある大きな問題です。人の生活が豊かになるにつれて、ごみは増えています。昔から松本の人には、「自分のまちは自分でなんとかする」という気持ちがあり、ごみ拾い運動には多くの人が参加してくれますし、学校や町会、会社でも取り組んでくれています。「市民がきれいにしているまち松本」が定着していると思います。
- ・ 観光客からも「松本はごみが少ないきれいなまち」だと思われていますが、みんなが気付いてくれたように、よく見るとごみが落ちています。
- ・ 分別できるごみ箱を増やそうという意見がありました。ごみ箱があると分別せずに捨て

てしまうので、今は、家に持ち帰って分別して捨ててもらうことを基本に取り組んでおり、公園などにはゴミ箱はほとんど置いていません。

- ・ たばこの吸殻はごみの問題だけでなく、健康の問題でもあります。たばこの煙の健康への害を防ぐためにも、たばこを吸える場所と吸えない場所を分けるのは大切です。吸える場所には、きちんと捨ててもらうための吸殻入れも必要です。投票箱型の吸殻入れのアイデアもおもしろいと思います。いろんなアイデアを大切にして考えていきたいと思います。
- ・ 松本には焼却場も埋め立て場もあるので、ごみはなぜ発生して、どう処理されるのか見ていただきたいと思っています。ごみ問題は、世界共通の課題でもあるので、ぜひ、つきつめて考えていってほしいと思います。

エ こども部長

- ・ 発表を聞いて、自分のマナーを見返す機会になりました。特に交通ルールを発表で、「子どもがルールを守っているのに大人が守っていない」という言葉には考えさせられました。
- ・ 交通ルールについても、ごみ問題についても、子どもの方がマナーが良いと思います。どうして大人になるとルールやマナーを守れなくなってしまうのか考えてみると、まわりの大人がマナーを守っていないのに、自分だけ守ることが恥ずかしくなって、無意識で違反しているのだと思います。
- ・ 無意識で違反する人にルールやマナーを守ってもらうには、今日のように、大人が子どもに気付かされることも効果があると思います。警察の取締りもお願いしたいと思いますが、警察もずっと見ているわけにはいきません。警察が見ていない所で違反してしまえば同じなので、一人一人が自分で気付いてマナーを守れるようにしていくことが必要です。そのためにも、子どもたちの意見を大人が聞く、今日のような機会が大切だと思います。
- ・ みんなには、「子どもにやさしいまち」を作るために、いつも活動してもらっていますが、ごみ問題を解決するまち、交通ルールを守るまちは、子どもだけでなく、すべての人にやさしいまちだと思うので、引き続き良い意見を聞かせてほしいと思います。

オ 交通安全・都市交通課長

- ・ 取り締まりの強化という意見がありました。「強化」というものは、ただ何回も回数をこなすのではなく、事故の多い場所や時間などをよく分析して、いつどこで取締りをやるのが効果的なのかを考えることが重要です。ただ、取り締まりは、市役所ではなく警察の仕事なので、今回の意見は責任をもって警察に伝えておきます。
- ・ 地域の放送や宣伝車で呼びかけるという意見もありました。これまで、交通ルールについては、「広報まつもと」やチラシを使って呼びかけてきましたが、なかなかすぐに効果がでません。これからも、今回の意見を参考にして、粘り強く呼びかけていきます。
- ・ 交通安全教室については、松本市でも保育園や幼稚園、高校生、高齢者を対象に開催しています。大人の講習は、運転免許の書き換えのときに行うことが多かったのですが、警察署や地区の交通安全協会と相談していきたいです。
- ・ 外国語の看板について、松本には多くの外国人が観光などを目的に來ています。交通標識に限らず、外国人に分かるように、様々な看板が必要になると考えています。
- ・ 今回は、提言だけでなく、自分たちにできることの発表もありました。特に、音楽が大きい

すぎるという意見もありましたが、同じように、イヤホンを使って自転車を運転すること
も良くないことです。みんなには、ルールを知り、守り、大人の手本になってほしいです。

- ・ 運転するすべての人に対する思いやりをもち、お互いにゆずり合えるまちになれば、交通事故・松本走りがないまちになると思います。

(4) ふり返り

提言終了後の委員会では、ふり返りを行い、次のような意見が出されました。

		活動紹介グループ	ごみ問題グループ	交通ルールグループ
準備	良かったこと			・ みんなで協力できた。
	直すべきこと	・ 大人と同じような意見ばかりだったので、もう少し子どもらしい意見を出せれば良かった。 ・ 準備の日程が短かった。 ・ 本番前にもっと調整したい。	・ 原稿作りを1人に任せきりにしてしまった。 【改善策】 ・ 全員が責任感を持つようにする。 ・ 打合せや練習、下調べは余裕をもってやりたい。	・ 練習が足りなかった。 ・ 原稿を作るのが遅かった。 【改善策】 ・ 余裕をもって行動する。
本番	良かったこと			・ 分かりやすくてできた。 ・ 1人1つは発表分担があったのが良い。
	直すべきこと	・ 言い間違いがあった。	・ はきはき、ゆっくり、伝わりやすく言うことができなかった。 ・ 発表までの準備不足が目立った。	・ 声が小さく、早口だったので、マイクがあっても伝わりにくかった。 ・ 原稿ばかり見ていた。 ・ 読み間違いがあった。
コメントを受けて思ったこと		【ごみ問題について】 ・ 観光客だけではなく、松本市民も「クリーン・シティ」だと思えるようなまちにしたい。	・ コメントの中には、自分が知らなかったこと、気付かなかったことがたくさんあった。市や大人の考えをもっと理解するために勉強したい。	【ごみ問題について】 ・ 公園のごみ箱をなくし、ごみを自分で分別できるまちになってほしい。 ・ 外から来た人だけでなく、誰が見てもきれいなまちにしたい。 ・ 市民がきれいにしていることが大切だと思った。 【交通ルールについて】 ・ 看板ではなく別の方法で交通ルールを外国人に伝えるようにしたい。

6 市の施策への協力

(1) 松本市子どもにやさしいまちづくり委員会との意見交換会

松本市子どもの権利に関する条例に基づき、子どもにやさしいまちづくりを推進するために活動している、「松本市子どもにやさしいまちづくり委員会」と、松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画について、意見交換を行いました。

子どもにやさしいまちづくりに関する施策のうち「子どもの権利の普及・学習への支援」「子どもの相談・救済の充実」「子どもの意見表明・参加の促進」「子どもの居場所づくりの促進」の4つにテーマを絞り、未来委員会の委員が、市の取組みをどれくらい知っているか、その取組みについてどう感じているか、どうしたらもっと良くなるかを話し合いました。

【子どもの権利の普及・学習への支援】

- ・ チラシなどに漫画が使っていると、読みたくなる。
- ・ 一方的に知らされるだけだとつまらない。条例について話し合う場があると良い。

【子どもの相談・救済の充実】

- ・ 電話や面談だけでなく、手紙でも相談してみたい。
- ・ SNSなどを使うと、若い人の目にも留まる。

【子どもの意見表明・参加の促進】

- ・ まずは未来委員会の活動をもっと多くの人に知ってもらいたい。
- ・ 未来委員会のようなものを広げる、増やす。

【子どもの居場所づくりの促進】

- ・ 公園は、周りに家があるので、できるスポーツが限られている。
- ・ 公園の中でも、スポーツ専用と遊ぶ専用のスペースを分ければいい。



(2) 公共施設再配置計画に関する意見交換

市の契約管財課から、公共施設再配置計画について、未来委員会に意見を聞きたいという話があったため、協力しました。

まず、公共施設や公共施設再配置計画について学習しました。

- ・ 公共施設とは公民館や体育館、学校、保育園など、市民の税金で建てられた施設
- ・ 公共施設の課題は、これから先、建物が古くなっていくことや、人口が減ってしまうこと、人口が減ることにより集められる税金が減ってしまうこと
- ※ 2045年までに、年間28億円ずつ税金が足りなくなっていくと計算されている。
- ・ 公共施設の「再配置」とは・・・建物の機能や規模、場所などを見直す計画。計画を考えるときには、みんなの希望をできるだけ叶えられること、子どもからお年寄りまで、みんなが交流できる場所にすること、「いま」だけでなく将来の負担を考えることが大切
- ・ 「再配置」の方法には、集約化と複合化がある。
 - ① 集約化 同じ敷地に、別々の建物をまとめること
 - ② 複合化 別々の建物にあった機能を1つの建物にまとめること

次に、何の施設が一緒になると便利か、同じ建物の中にあっても大丈夫な施設は何と何か、自分の住んでいる場所の近くにどんな場所があると便利か、計画を進める上で問題になりそうなことはどんなことを話し合い、再配置計画について考えました。

	一緒だと便利な施設	同じ建物の中でも大丈夫な施設	近くにあると便利な施設	問題になりそうなこと
みんなからの意見	・ バス停と公共施設 ・ 公民館と図書館 ・ ラジコンができる施設と公民館 ・ 美術館と図書館 ・ 学校と病院 ・ 学校と児童館 ・ 学校とコンビニ（コンビニから土地代をもらう） ・ ショッピングモールと図書館	・ 地区にある体育館と学校の体育館（1つにする） ・ 児童館と小さな子が遊ぶ施設	・ 病院、診療所 ・ 塾 ・ 児童館 ・ 便利に使える場所（小さくてもいい）	・ 建物を壊すことにもお金がかかる ・ 建物の数が減って場所が遠くなる、不便になる ・ 工事の騒音 ・ 1つの施設に人がたくさん集まってしまう

最後に、契約管財課から、まとめの話がありました。

公共施設と公共施設を一緒にするだけ考えてしまいますが、今回、公共施設とコンビニやショッピングモールとを一緒にする意見が出てきました。私たちだけで考えているときには思いつかない意見だったと思います。

この計画は、30年後の松本市を考えて作られています。30年後には、みなさんは働いて税金を払う立場になっていると思いますので、今日考えたことは、みなさんと無関係のことではありません。大人になって公共施設を使うとき、計画のことを思い出してほしいです。



7 次期委員会に向けた活動

(1) 第5期委員募集のチラシ作成

第14回から16回の委員会にかけて、次期委員募集に使用するチラシ作成を行いました。

第4期委員募集チラシを参考にしながら、小学生と中高生とでは、魅力を感じる活動内容が違うので、小学生向けと中高生向け、別々でチラシを作った方が良いという意見があったので、小学生と中高生とでグループに分かれて作成を進めました。

【小学生グループの意見・方向性】

- ・ 文字を減らして、写真を増やした方が良い。イラストよりも、委員会の様子が分かる写真を増やした方が良い。
- ・ 活動内容は、なるべくたくさん書いた方が良い。
- ・ 活動内容は、数をしぼって、内容が分かるように説明を書いた方が良い（「チャオ！バンビーニ」など）。
- ・ チラシだけでなく、動画が作れると良い。
- ・ QRコード、委員のコメント、活動内容、保護者へのお願いは載せたい。
- ・ タイトルと委員のコメントは手書きにして、他はパソコンで作成していく。

【中高生グループの意見・方向性】

- ・ 中高生が興味を持つものはどんなものが難しい。ただ活動内容をたくさん書いても「色々な活動をしていて楽しそう」とはならないと思う。
- ・ 手書きも良いけれど、パソコンで打った文字でも良い。なるべく柔らかい雰囲気のフォントだと良い。委員からのコメントは手書きにする。
- ・ 市民フォーラムなど内容が名前だけで伝わるものは、説明文を減らしてはどうか。
- ・ 第4期の募集チラシを参考にしながら、「楽しい」だけでなく「会議などに真面目に取り組んでいる」ことが分かる内容にしたい。
- ・ 写真は、話合い（なるべく中高生が写っているもの）と提言の様子を載せる。

※ 完成したチラシは、36～37ページに掲載

(4) 委員会のルール作成

委員から、未来委員会にもルールがあった方が良いという意見があったことに基づき、委員会のルールを作成しました。

まず、必要だと思うルールを思い浮かぶだけ出し合いました。

- ・ 話し合いには真剣に参加する。
- ・ 積極的に委員会に参加する。／発言する。／遠慮せずに自分の意見を言う。
- ・ ちょっとした事でもいいから自分の意見をもつ。
- ・ 委員会に関係のないものは使用しない／スマホは話し合いで使わない／スマホは最低限しか使わない。 →それも子どもの過ごし方だから尊重すべき
- ・ ゲーム類禁止（休み時間は可）
- ・ コミュニケーションのために、休憩時間を大切にする。
- ・ 時間を見て行動する、時間に余裕を持って行動する。
- ・ 外で活動するときは、落ち着いて行動する。
- ・ 文句や否定を言わない。
- ・ 個性を認める。

続いて、似たようなルールを「話し合いについて」「委員との関わり方」など項目に分けて整理してはどうかという意見、委員が覚えやすいように数を減らしていくべきという意見に基づいて考えました。

- ・ 項目は、「話し合いについて」「委員との関わり方」「委員としての心構え」でどうか。
- ・ 「委員としての心構え」は、話し合いにも委員との関わり方にも共通している項目なので、「委員である上で」にしてはどうか。
- ・ 話し合いには、自分の意見を言うことだけでなく、相手の意見を聞くという両面が大切
- ・ 「互いを尊重する」というルールは良いが、「尊重」という言葉を知らない子がいるかもしれないので、「認め合う」にしてはどうか。
- ・ 「時間厳守」の「厳守」はきつい言葉なので、「守る」にした方が良い。

以上により、次のようなルール案ができました。

(話し合いについて)

- ・ 自分の考えを持つ
- ・ 積極的に発言する
- ・ 他人の意見をしっかり聞く

(委員との関わり方)

- ・ 互いを認め合う
- ・ コミュニケーションを大切にする

(委員である上で…)

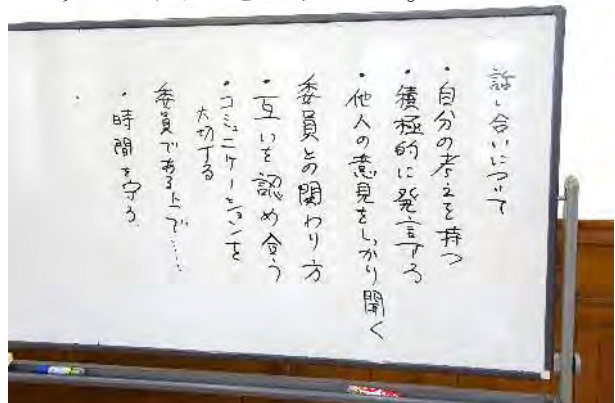
- ・ 時間を守る

ここで、項目にわけてあると各項目のバランスが悪く見えることなどから、項目を外し、内容が具体的にすぎないように配慮しながら、内容を練り直し、ルールを完成させました。

また、できあがったルールには、示しやすいようにタイトルをつけました。

【未来委員会 7 箇条】

- 1 自分の考えを持つ
- 2 他人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にする
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する



VI 先進都市との子ども交流事業

1 札幌市・奈井江町との子ども交流事業

(1) 趣旨

札幌市の歴史や風土を学んで視野を広げるとともに、将来の松本のまちのあり方を考える契機とするため、子どもの権利条例に関する先進自治体である、北海道札幌市及び奈井江町の子どもたちとまつもと子ども未来委員会の子どもたちとの交流事業を実施しました。

(2) 参加者

委員 10 名（小学 5 年生～中学 3 年生）

※ 札幌市、奈井江町、各 10 名程度（小学 5 年生から高校 3 年生）

(3) 期間

7 月 31 日（火）～8 月 3 日（金）

(4) 事前・事後学習会

より有意義な交流事業とするため、松本市や札幌市の歴史等について学ぶ学習会を、次のとおり開催しました。

回	日 時	内 容
1	5 月 27 日（日） 9：00～12：00	オリエンテーション、代表・副代表決め 見学場所等やりたいことの検討
2	6 月 10 日（日） 10：00～12：00	しおり作り（松本市・札幌市の学習）
3	7 月 8 日（日） 10：00～12：00	しおり作り（松本市・札幌市の学習） 札幌駅前での松本市 P R ティッシュ配りについて検討
4	7 月 22 日（日） 10：00～12：00	完成したしおりの発表 P R ティッシュ作り
5	8 月 26 日（日） 10：00～12：00	まとめ、交流事業報告に向けた準備

(5) 内容

期 日	内 容
7 月 31 日（火）	移動日、札幌市内見学
8 月 1 日（水）	3 まち子ども交流事業 ・ 札幌市定山溪エリアについて学習、見学・体験 ・ 「定山溪をもっと楽しく、もっとみんなに伝えたい！」をテーマに、意見交換、提言
8 月 2 日（木）	札幌市中央卸売市場・北海道大学博物館等見学
8 月 3 日（金）	北海道博物館見学、移動日

(6) 参加者感想文

38～53 ページのとおり

(7) 報告会

交流事業で学んだこと、交流をとおして考えた松本のまちづくりについて、未来委員会内で、次のとおり発表・報告を行いました（報告に使用した模造紙は53～56ページのとおり）。

- ・ 4日間で、市街地の散策や博物館や市場など、札幌市内を見学して学んできた。
- ・ 札幌駅前では、ティッシュ配りを行い、松本市のことをPRしてきた。
- ・ 2日目に行われた、札幌市と奈井江町の子どもたちとの交流事業では、札幌市の定山溪温泉エリアのPRをテーマに、定山溪温泉のホテルや公園等の見学、カヌー体験をして、みんなで意見交換をした。住んでいるまちが違うと、意見にも違いがあり、新しく気付くことがあった。
- ・ 4日間で考えたことは、PRについて。松本でも札幌でも、外国人観光客が増えている反面、日本人観光客が減っているのではないかと思った。そこで、SNSを利用したりホームページの内容を充実させたりすることで、日本人、特に若者の観光客が増え、観光地のさらなる発展につながるのではないかと考えた。



2 子どもの権利条約フォーラム 2018 in とちぎ

(1) 趣旨

「子どもの権利に関連した実践・経験の交流」「子ども同士そして子どもとおとなの交流やパートナーシップの関係づくり」を目指し、毎年全国1箇所で開催されているフォーラムに、先進都市の視察や子どもたちの交流を目的に、参加しました。

(2) 期日・内容

期 日	内 容
1 1 月 3 日（土・祝）	足利っ子わいわいフェスタ、全体会、交流会
1 1 月 4 日（日）	分科会「とちぎに広がる『こどものまち』の素顔と未来」「子どもによる子どものための交流会」

(3) 会場

栃木県足利市

(4) 参加者

小学生5名

(5) 参加者の感想（一部）

- ・ 全体会であった講演会のお話（テーマ：「子どもが生きる力」を守る～子どもの貧困と子どもの権利～）は、難しかったけれど、勉強になった。高校生くらいになれば、もっとよく分かると思う。
- ・ 「こどものまち」が松本でもできれば良い。市民フォーラムの時に、イオンモールを会場に開催できれば盛り上がると思う。



VII その他委員の興味・関心のある事業

1 レゴブロックで作った世界遺産展

信濃毎日新聞社主催の「PIECE OF PEACE 『レゴブロック』で作った世界遺産展」において、「みんなで作る PEACE！未来に残したい信州のたからもの!!」の企画に参加しました。

(1) 期間（展示期間）

5月12日（土）～6月3日（日）

(2) 参加者

5名（小学6年生～中学1年生）

(3) 内容

「未来に残したい信州のたからもの」の趣旨に合わせ、森林伐採や都市開発が進む中、国宝である松本城や日本アルプスの山々がいつまでも残っていますようにと願いを込め、「いつまでも永遠に。。。松本城」と題し、山を背景にした松本城をレゴブロックで作成しました。



2 学都松本フォーラム

(1) 趣旨

学都松本推進協議会からの依頼を受け、学都松本フォーラム分科会「楽しい学校ってどんなところ？」に参加しました。

(2) 内容

全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえ、どんな学校なら毎朝学校に行くのが楽しくなるのか、などの意見を出し合い、「楽しい学校」に必要なものは何か、考えを深めていく。

(3) 参加者

5名（小学5年生～中学生2年生）

3 チャオ！バンビーニ

(1) 趣旨

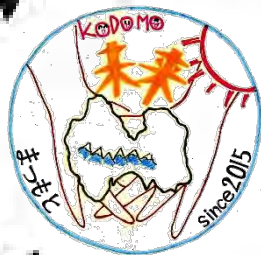
まつもと市民芸術館主催の子ども向けイベント「チャオ！バンビーニ（ニャオ！バンビーニ）」において、とびだす童話「ねこはしる」（演劇）の開演前パフォーマンスに出演し、私語や携帯電話の使用禁止等、演劇鑑賞マナーを子どもにも分かりやすく、歌とダンスで伝えました。

(2) 参加者

6名（小学5年生～中学2年生）



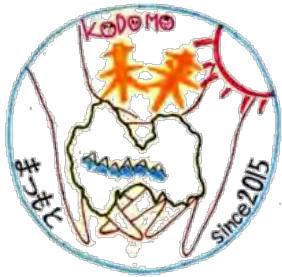
VIII 資料



まつもと子ども未来委員会 活動報告・市長提言

◎ 第4期まつもと子ども未来委員会

青山飛眞、浅井悠衣華、阿部康介、市川真帆、糸井豊哲、井篁莉乃、内川和香、大槻幸貴、小澤樺音、小野結羽、上條未翔、木島凜太郎、楠裕人、胡桃澤実彩、小手川悠人、澁谷綸、菅原彩奈、鈴木柚葉、高田莉子、滝沢夏菜、滝澤智貴、千野大樹、中澤愛叶、永本涼夏、永本夏樹、西沢知彦、根本怜奈、橋本昂賢、藤川翠、藤崎悠理、古屋采音、宮島陸



未来委員会について

始まり

- 松本市子どもの権利に関する条例に基づいて設置
- 平成27年1月に発足して、今年で4期目



目的

- 子どもにやさしいまちづくりをさらに進める



内容

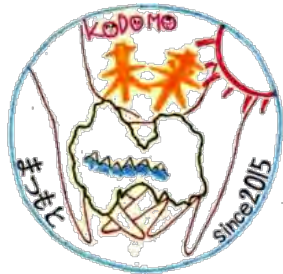
- 学校、地域、年代を越えて、市やまちの課題について学び、解決に向けて話し合う



未来委員会のマーク



松本と松本の自然を
大切にしたい(手の中
に松本、山と太陽)
笑顔でいっぱい
したい(KODOMOの
Qが笑顔)

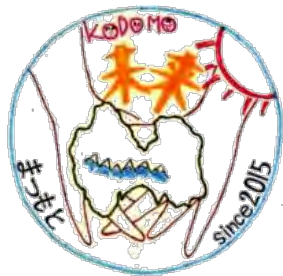


第4期の委員会について

- 活動期間
平成30年4月～31年3月（1年間）
- 委員
32人（小学生19人、中学生12人、高校生1人）
このうち、16人が、第3期から委員会を継続
委員は、全員公募！（学校からの推薦ではなく、自分で応募）

【委員会を継続している理由】

- ・皆と共同で作業が出来て楽しいから。
- ・松本の歴史と現状が知れるから。

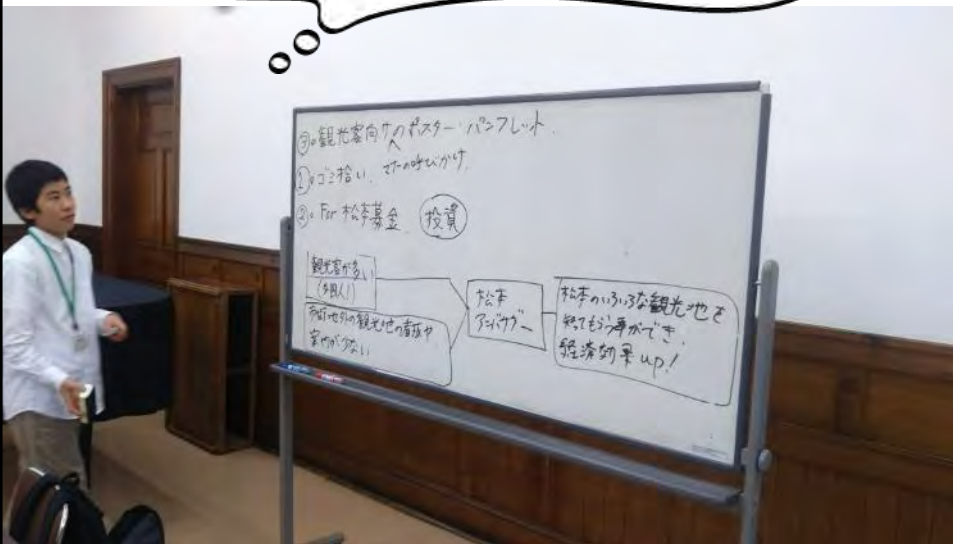


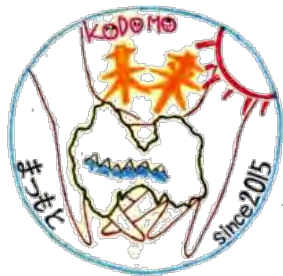
第4期のテーマ

今よりもっといい松本を作ろう!

松本をより良くて、
暮らしやすいまちにしたい。

観光客に
もっと来てもらいたい。





第4期の活動

学習会

- 回数：これまでに12回
- 内容：松本市のごみ問題・交通について学習、話し合い

学習会のほかに・・・

- ごみ拾い活動
- 市議会の出前講座・議員さんとの意見交換会
- 市内見学会（2回：松本城、上高地など）

松本城見学

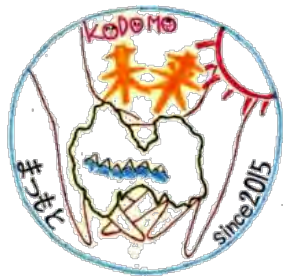


上高地見学



市議会出前講座



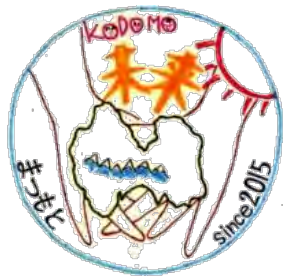


第4期の活動 ～ごみ拾い活動～

- 「ごみ拾い活動をしたい」という委員の意見で始まる
- 事前に、松本のごみ問題について学習
- あがたの森周辺、パルコ周辺、松本駅周辺の3コースを自分たちで考え、実施



駅前を中心に **ごみを拾った**。道のえんせきの下や、花だんの土の上などに、**たばこのすいがら**が多くておどろいた。カン、ビン、ペットボトル等の大きいごみは、**すいがら**が
あった場所より、もっと**目立たない、物のかげ**にあった。

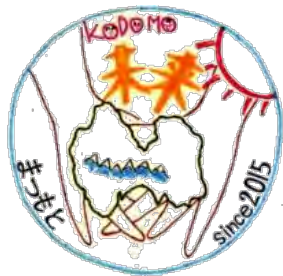


第4期の活動 ～市議会出前講座～

- 議員さんの仕事について学習
- 議場見学
- 「松本をもっと良くするには」をテーマに意見交換



- 。市議会出前講座では、^{せいかいぎん}請願・^{ちんしやう}陳情（市議会に意見や要望を出すこと）が、国籍や年齢に関係なく出せることにおどろいた。
- 。意見交換会では、大人と子供の考え方に違いがあり、自分では思いつかなかった考えがきけて、とても参考になった。



札幌市・奈井江町との 子ども交流事業

目的

- 子どもの権利条例のある自治体の子どもと交流すること
- 札幌市の歴史や風土を学んで視野を広げ、将来の松本のまちのあり方を考えるきっかけにすること

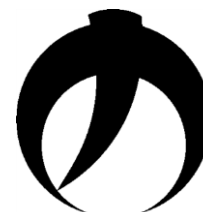
参加者

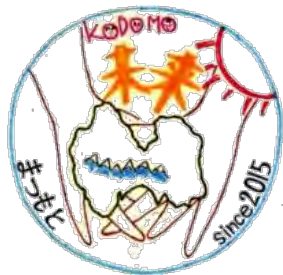
- 委員 10 人（小学生 8 人、中学生 2 人）



期間

- 7月31日（火）～
8月4日（金）

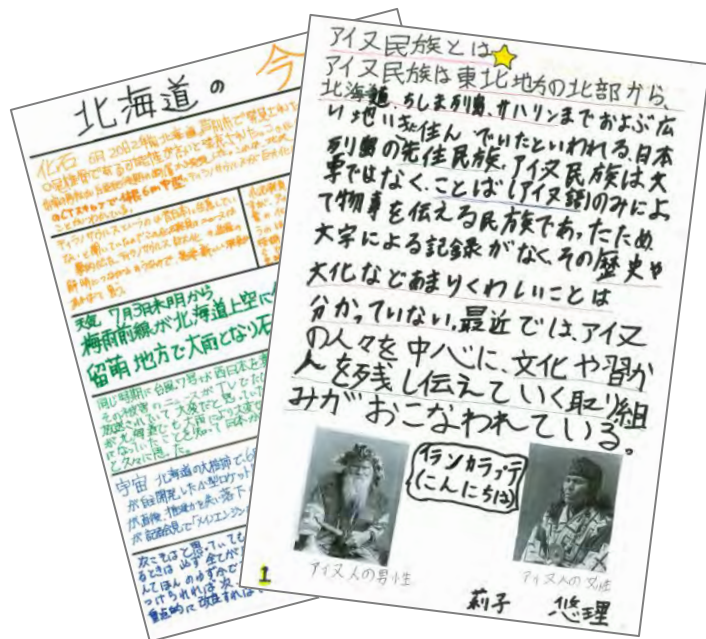




札幌市・奈井江町との 子ども交流事業 事前学習会

より充実した交流にするため、事前学習会を行い、見学場所を決め、札幌市や奈井江町、松本市の歴史や文化を調べ学習（しおり作り）

▼完成した「しおり」（一部）

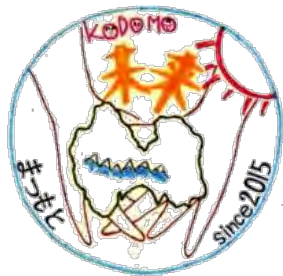


学習会を進めるなかで、「札幌の人にもっと松本に来てほしい」と思い、松本をPRする紙を入れたティッシュを作成し、札幌駅前で配ることに決めました。



▲作成したティッシュ

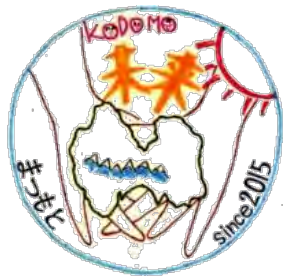




札幌市・奈井江町との 子ども交流事業 ～松本のPR～

- 学習会で決めたことをもとに、札幌駅前でティッシュ配りを実施
- 約150個のティッシュを配付





札幌市・奈井江町との 子ども交流事業 ～見学した場所～

- さっぽろテレビ塔、旧北海道庁、卸売市場、ジャンプ台、札幌オリンピックミュージアム、北海道大学、北海道博物館 などなど…



テレビ塔



旧北海道庁



卸売市場



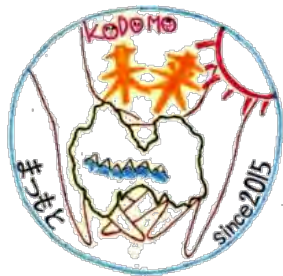
ジャンプ台



北海道大学



北海道博物館

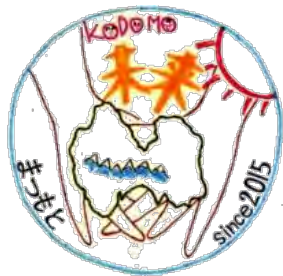


札幌市・奈井江町との 子ども交流事業 ～交流会～

- 札幌市・奈井江町の子どもたちとの交流会
- テーマ：定山溪をもっと楽しく、もっとみんなに伝えたい！
- 内容：定山溪エリアの見学・アクティビティ体験、意見交換、提言



S N Sの利用や
オリジナル手遊び
など、松本のPRに
参考になる意見
もありました。



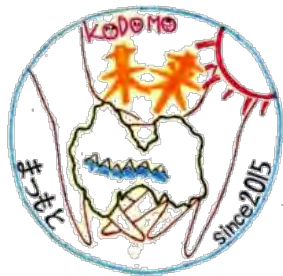
北海道は、長野県とはちがうところがたくさんありました。
奈井江町、札幌市の子との交流を深めることができ
てよかったです。

札幌奈井江町子ども交流

見学の紹介

～4日間のまとめ～

▲事後学習会でまとめた模造紙



提言について

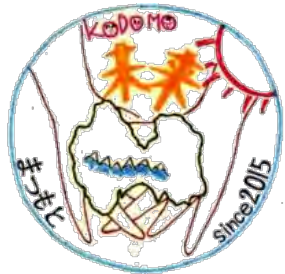
活動をとおして気づいたこと

- 道にごみが多い、ポイ捨てが多い
- 車や自転車の事故が多い、危ない運転をしている



提言内容

- まちをきれいにしたい = 1 ごみ問題
- 事故をなくしたい = 2 交通ルール



① ごみ問題 提言の理由

あこがれのまちの姿

- 酒の容器・たばこなど、ポイ捨てをしないまち
- ごみを出す量が少ないまち



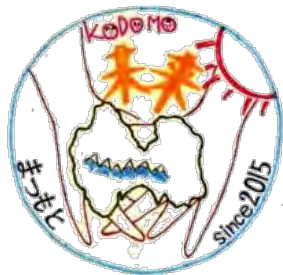
ごみ拾い活動の様子

松本市のいま

- 自然が豊か
- 空気がきれい
- ごみ拾い活動をしている
- 道にごみ（ポイ捨て）がある
- 県内で1人が1日に出すごみの量が一番が多い

どうしたらいいか？

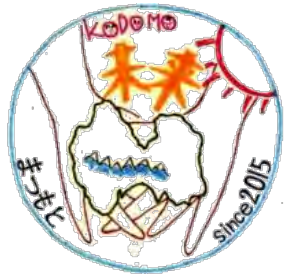
- ポイ捨てを減らして、きちんと分別して捨ててもらうことで、ごみの排出量を減らす。
- 特に、食べ歩きをしている人など、ポイ捨てしやすい人に理解してもらう。



① ごみ問題

【提言】

- 。分別できる **ごみ箱を増やす**。
- 。 **3R** を広める。
- 。ポイ捨て **禁止条例**を広める。
- 。店で **ポイ捨て禁止**をよびかける。



① ごみ問題 提言に加えて

大人に してほしいこと

- 海外での取組み（投票箱型の吸殻入れを設置）も参考にしながら、ポイ捨てを減らして欲しい。
- ごみを捨てるときは、分別してほしい。
- リサイクルできるものは、捨てずに再利用してほしい。

自分たちでも できること

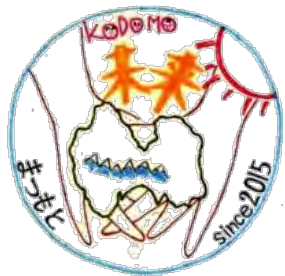
- ポイ捨てが自分や環境問題にどんな影響を与えるのか理解する。
- 呼びかけやごみ拾い活動に協力する。
- 3Rを広める。
- バッグなど、飽きてもすぐに捨てない。

まとめ

- ポイ捨て削減、ごみの削減に取り組みましょう。



▲ごみ拾い活動で拾ったごみ（2時間の活動で、ごみ袋2袋分集まりました。）



② 交通ルール 提言の理由

あこがれのまちの姿

- 交通事故がない・ゆずり合う・「松本走り」がないまち

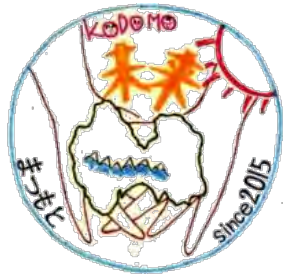


松本市のいま

- 子どもが交通ルールを守っている。
- 「スピード落とせ」などの看板を立てている。
- 逆走、割り込み、「松本走り」がある。
- 多国語表記の看板が少ない。

どうしたらいいか？

- 大人も子どももマナーを守ってもらえるようにする。
- 日本語がわからなくてもマナーを守ってもらえるようにする。



② 交通ルール 【提言】

取り締まりを
強化する

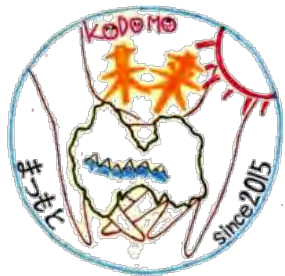
交通安全教室
を増やす



アルプ
ちゃん

地域の放送や
宣伝車で
呼びかける

多国語の
看板を立てる



② 交通ルール 提言に加えて

大人に してほしいこと

- 車で音楽を聞くときの音量に注意してほしい。
- 「松本走り」はしないでほしい。

自分たちでも できること

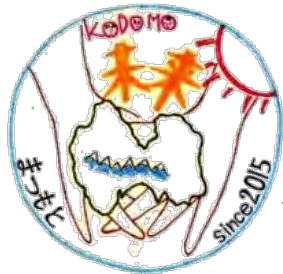
- 良い交通ルールのお手本を見せる。
- ルールを守っていない人に注意する。



まとめ

- 事故のない松本をめざして、より良いまちにできるよう、協力していきましょう。





これまでの活動をとおして（まとめ）

ごみをなくす



環境を守る



松本の自然が
一層豊かになる



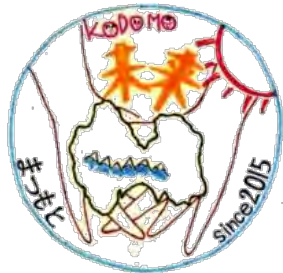
交通ルールを守る



安全なまちになる



観光客にも魅力的な「今よりもっといい松本」を作る！



ご清聴
ありがとう
ございました!

第5期 まつもと子ども未来委員会 委員募集!!



Q まつもと子ども未来委員会は何しているの？

A (未来委員会とは)

- ・第5期の活動期間は2019年4月～2020年3月まで
- ・対象は2019年4月時点で小学5年～高校3年生の方
- ・月に1～2回委員会を行います。
- ・委員会の内容は、その年ごと自分たちで決めます。



未来委員会の
ホームページへ！



A (第4期に行なった活動)

- ・市内見学・ゴミ拾い・札幌市、奈井江町との交流・市長提言
- ・市民フォーラム・チャオ！バンビーニ・子どもの権利条約フォーラム

※1 市民芸術館で行われる、子ども主役のイベントで、第4期は、演劇の開演前パフォーマンスに参加しました。

※2 子どもの権利について、体験したり学んだりする全国イベントです。

A (委員からのコメント)



このチラシは、未来委員会の活動の周知と新規委員を募集するために小学生委員が自分達でつくったものです。



第5期まつもと子ども未来委員会の 委員を募集します。

未来委員会は、松本市が抱えている課題やその解決策の話し合いなどをしており、11月頃にその結果を発表しています。

第5期の活動期間は2019年4月から2020年3月までです。松本市内の様々な小・中・高校から集まり話し合いをしていく中で交友関係も深まり自分も成長できると思います。

第4期では月1、2回集まって環境や交通ルールについて、市役所の方々に教えていただいて、話し合いや市議会議員と意見交換会を行い、市民のみなさんの前で、市長に提言しました。



会議中
の様子



市長提言
の様子

委員からのコメント！！

・月1の委員会では 毎回 楽しく議論しています。テスト勉強の間の気分転換になると思います。中1
・今まで 行ってきた市内見学では 教えてくれない 歴史を知ることが出来て勉強になったので良かったです。中2男
・私は第1期から続けています。毎年ちがう事を話し合ってきて自分の意見を他の人にきちんと伝える事ができて楽しかったです。中2・女

☆保護者の方へ☆

委員会に所属した場合、送迎などの協力が必要になる場合がございます。
活動にご協力をお願い致します。

貴方の意見が松本を変えます。

一緒に楽しく活動しましょう！



未来委員会の
ホームページへ

このチラシは、未来委員会の活動の周知と新規委員を募集するために中高生委員が自ら作成したものです。

3 子ども交流事業参加者感想文

[illegible]

くれたし、話しかけやすく、すぐに友だちを
作る事ができました。

ろまち子ども交流のつながりの、子ども
の権利があつて本当にステキな町だなと新
めて思いました。

北海道の歴史でアイヌの事や地名の由来を
知れてうれしかったです。歴史が好きなので
もっと知りたいなと思いました。

特にアイヌの事がくわしく知れてうれしい
です。家のくふうや楽器、物語について知れ
て、説明もあり、北海道って歴史のある所な
んだなと思いました。

北海道は、水や食べ物豊富で新せんでお
いしかったです。魚も野菜も全部おいしくて
ほったがおちてしまいました。

北海道のセリが特し、なんだそうです。
手の動きややり方がすぐにだせるくふうが
してあつておもしろいなと思いました。

松本のセリより、すごく大きくて、たく
さん食べ物があり、べんりなのかなと思いま

した。

札幌の信号に(西)南などの中心からの道のりがわか、てわかりやすく昔の事が残、てすてきな町だと思いました。

北海道は、自然も昔の物もいろんな物を大切に所なんだと思います、すてきな思い出しました。

北海道の名前の由来は、海は、アイヌの意味が入、ていて、アイヌの事も大切にしているだと思いました。

カヌー体験やつり橋の体験などの色々な体験ができて楽しが、たです。

松本にもふん水を置いたり松本も花を植えてるけど札幌みたいに花だんをおいたりしたらいいなと思いました。

北海道も都会なので人がたくさんいて迷子になりそうでした。

日の照り方もちが、ておどろきました。

松本は、いたい日だけど北海道は、ゆるやかな熱い日だなと思います夏は北海道が、いいな

と思ひました。

札幌の良い所をいかして松本をよりよくしたいです。

成長できた交流事業

井 寛 莉 乃

1 日 目

出発当日。初めての飛行機には不安でいっぱいだった。いざ乗ってみると、とっても楽しく、移動の一時、三十分はあっという間に過ぎってしまった。そして北海道到着、まず思ったこと。大きい、移動で使った電車の乗車時間が長く、さらに大きさを感じた。札幌にくと市内見学スタート、この日は地元の方達もおおとろく猛暑日で、私も熱中症になりかけた。笑見学で思ったことは、どこに行っても人が多いというところ。もちろん、テレビ塔や旧道庁の歴史などにもおもしろい。見学後は、札幌駅前でテキストの配りをした。受け取ってくれた方はみな、松本のことについて興味を示してくれてうれしかった。夕食後にはテレビ塔内部を見学。とても高かったが、夜景はすばらしいものだった。そうして1日目が終わった。

海道大学総合博物館を見学した。ここには今	までの研究結果が展示してあったり、大学の	歴史などを学ぶことができた。最後は雪印×	グミルク酪農と乳の歴史館を見学した。ここ	では、歴代のバター・チーズの製造機械のレ	プリカが展示してあったり、実際の工場を見	学した。最後には、試食として北海道限定の	乳酸菌飲料「カツゲン」を飲んだ。味はパイ	ナップルジュースの味でとても美味しかった。	4日目	今日は北海道最終日。帰るのはさみしいが、	早く帰りたくもある、とても難しい気持ちの	一日だった。そんな4日目。まずは北海道博	物館でアイヌのことなどについて学んだ。そ	して最後は新千歳空港にておみやげを買っ	北海道をあとにした。松本につくと、やはり	おちつく。さすがふるさとだ。久しぶりに家	族に会えたのもうれしかった。今回の交流事	業で一まわり成長できたと思う。この4日間	は、充実して最高の4日間となった。
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------------------

と	一	え	の	又		と	は	開	名	り	か	か	札幌	ロ	め	間		本	
に	葦	ば	80	民	二	感	こ	拓	に	か	あ	ら	幌	ッ	、	で	一	物	今
な	原	、	パ	族	つ	じ	の	者	も	多	っ	自	を	ク	札幌	分	っ	に	回
た	が	一	ー	に	目	、	特	の	見	く	た	開	開	が	の	け	目	触	の
と	、	サ	セ	っ	は	札幌	徴	故	ら	見	な	拓	拓	並	町	、	れ	札幌	れ
言	広	ッ	ント	ポ	は	市の	は	郷	れ	ら	ど	し	した	んだ	は	、	、	子	も
わ	大	ポ	が	ロ	一	歴史	北海道	か	。例	た	、	た	な	よう	上	、	非	ど	も
れ	な	ー	アイ	ー	は	の	な	地名	え	。こ	幌	な	ご	な	か	、	常	交	流
て	、	は	ア	サ	一	奥	は	の	ば	の	に	ご	り	で	ら	、	に	事	業
い	川	一	語	リ	さ	深	北海道	由来	、	よう	は	り	で	、	い	、	北	業	を
る	と	一	が	、	ア	を	で	な	北	な	真	、	、	、	る	、	海	通	じ
。ま	いう	ポ	由	ポ	ある	も	は	。て	広	な	。直	も	、	。こ	と	こ	道	じ	、
た、	アイ	ロ	来	ポ	アイ	感じ	もの	い	島	ご	ぐ	地	、	れ	ろ	ろ	に	私	は
アイ	語	パ	あ	パ	アイ	、	だ	る	市	は	な	形	、	は	だ	こ	興	は	、
語	も	ー	る	ー	アイ	、	な	。私	は	地	、	、	、	、	の	の	味	、	、
			例	そ	アイ	、									区	た	持	、	
																	っ		
																	た		
																	。私		

20 × 20

小澤 樺音

人	た	ち	は	、	観	光	客	だ	ろ	う	と	い	う	人	だ	け	で	な	く、
言	語	が	聞	こ	え	て	き	た	り	し	た	。	ま	た	、	そ	の	外	国
リ	、	街	を	歩	い	て	い	る	だ	け	で	、	日	本	語	で	は	な	い
国	語	に	も	対	応	し	た	看	板	が	い	た	る	こ	に	あ	っ	た	
い	う	の	も	、	札幌	市	に	は	、	英	語	だ	け	で	な	く、	中		
私	は	、	そ	れ	を	実	際	に	感	じ	る	こ	と	か	で	き	た	。	と
ど	の	格	宙	航	空	が	増	え	た	こ	と	に	よ	る	も	の	だ	か	、
加	し	て	い	る	と	い	う	こ	と	だ	。	こ	れ	は	、	Ｌ	Ｃ	Ｃ	な
	三	つ	目	は	、	札幌	市	へ	の	外	国	人	の	観	光	客	が	増	
た	。																		
イ	ヌ	人	な	ら	で	は	で	、	と	と	も	お	も	し	る	い	と	思	っ
地	形	を	そ	の	ま	ま	名	前	に	す	る	の	は	、	獲	を	す	る	了
断	を	こ	の	地	名	で	し	て	い	た	そ	う	だ	。	見	た	ま	ま	の
る	か	ら	危	険	、	小	さ	い	川	は	逆	に	安	全	。	と	い	う	判
近	く	に	住	ん	で	い	た	か	ら	で	、	大	き	い	川	は	氾	濫	す
重	要	視	さ	れ	て	い	る	。	こ	れ	は	、	ア	イ	ヌ	人	が	川	の
又	語	の	地	名	で	は	、	フ	サ	ツ	ポ	ロ	ー	の	よ	う	に	川	が
形	が	わ	か	る	よ	う	に	な	っ	て	い	る	。	他	に	も	、	ア	イ
の	名	前	に	し	た	た	め	、	聞	く	だ	け	で	、	そ	の	土	地	の
の	地	名	は	、	ア	イ	ヌ	の	人	が	見	た	ま	ま	の	地	形	を	そ

20 × 20

も	そ
多	の
い	れ
よ	幌
う	の
な	町
印	に
象	住
を	ん
う	で
け	い
た	る
。	の
	た
	ろ
	う
	と
	い
	う
	人

このように、札幌市は、様々な魅力がある	ことが、今回の札幌子ども交流事業でわかった。	私は、今後、特に興味を持ったアイヌ文化について、よく調べたり、ニューヨークを見て	動行に注目しようと思った。
---------------------	------------------------	--	---------------

札幌子ども交流事業の感想

渋谷 倫

ぼくは、七月三十一日から八月三日の間、札幌子ども交流事業で札幌市へ行ってきました。その時の事についてこれから書きます。

七月三十一日に僕たちはまつもと空港から出発しました。初めての北海道や初めての飛行機など初めてだらけとても緊張しました。乗っている間には、長野県を囲む山々や佐渡島が見えました。とても綺麗でした。

新千歳空港に着いたら、地下鉄で大通駅へ行きました。大通駅は、出口が三十つもあり、とても多岐にわたります。ホテルに荷物を置いて、街へ行くのと、交差点に「南」や「東」などと書いた標識がありました。これは、テレビの交差点から南へ北に何本、東西に何本かを書いたものだと思います。交差点から交差点まではほぼ百メートルという事も教えていただきました。どうしてそうできたかというところも札幌はとても平地だったので、街が作りやすか

ったそうです。初日からたくさんの方が学べ
ました。夕飯は、海鮮丼でした。北海道では
エビを生で食べるのを知り、驚きました。
八月一日は、今回の目的である札幌市
と奈井江町の交流を行いました。カヌーに
乗るなどの体験をしました。その体験を踏ま
えて、定山渓のPR方法を考えました。温泉が
ホテルのPRについて、バス、の座席の背中
に広告を貼るなど、皆さんの意見が出ました。
また、札幌市奈井江町の再と仲良くなれたの
で良かったです。夕飯はジンギスカンでした。
豚肉や牛肉とはまた違う味で美味しかったです。
す。
八月二日は、市内の施設を回りました。
まず朝には、市場へ行きました。せりが終わ
るまで、大口を見る事ができました。次に、オ
レンジビュッック、ジャムを見ました。クロス
カントカー、アボカド、レムのヤムがありがた
い。とても楽しかったです。その他には、北海
道大学に行きました。夕飯は、不ーпкаレ

がじた。辛かったけれど、とてもおいしかった。
たてず。八月三日には、北海道博物館へ行きました。
アイヌ民族についてなどたくさん学びました。
アイヌの部屋がありました。特に面白かったのは、北海道の生態系の部屋です。木から落ちたどんぐりはどこへ行くのか、分かんない。どんぐりコロコロや、冬眠中の生き物、分かんない。その後の電車でも新千歳空港へ行き、たてず。その後は、えぞ生態ストラップと、六花亭のお菓子詰め合わせを買いました。飛行機はあ、という間は松本に着きました。
今回の交流事業と市内見学は、とても楽しく充実したものになったので良かったです。それをこれから松本のより良い街づくりに生かしたいと思いました。

札幌子ども交流事業を通して

鈴木 栢葉

私は7月31日〜8月3日まで北海道に行きました。そこでいろいろな事を学ばせていただきました。

1日目は札幌駅でティッシュ配りを行いました。1人1個配る事になっていたのですが少ない様に見えてとても多く感じてしまいました。人に声をかけるというところに行きました。つくまでに時間がかかりました。小澤さんや橋本くんががんばって配っていてこのままではまずいと思い信号が青に変わる瞬間を待って青になったら走っていました。たくさんの人に渡そうと考えました。そうしたら一気に減ってあーという間に自分の分が終わってしまいました。なので困っている小学生を手伝って合計30個ぐらい配りました。途中もらってくれなかつた人もいたけどもらってくれた人が1人でも多く松本の足を運んでもらえれば結果オーライだと思っています。それに何

より楽しかったです。

2日目は、定山溪という温泉地でこの交流事業のメインである奈井江町、札幌市の子供達との意見交換会がありました。朝の電車で友達どうやって作ればいいのかちょっとぴり不安もありましたが、カヌー体験などを通してお友達ができたと話し合いの時には、私は書記でしたが、みんなの意見を上手くまとめられて良かったです。楽しく意見を出し合えてとても良い機会になったと思います。

3日目は、朝早くから中央卸売市場でまぐろの競りやメロンヤスイカなどの競りを見れて良い経験になりました。この市場は札幌ドーム約2、5個分のとんでもない広さだということや青果と水産でせりのせり方が違うことなどいろいろな事が知れて良かったです。この次に行うのは北海道大学です。ここは秋になるとイチゴウがともきれいで春夏秋冬冬いつ見ても自然が豊かであること、学生は

今	1	万	2000	人	い	て	、	そ	の	う	ち	女	子	が	約	3	割	い	る
そ	う	で	す	。	大	学	は	博	物	館	が	あ	り	ま	す	。	3	0	0
万	点	ほ	ど	あ	る	が	展	示	さ	れ	て	い	る	の	は	1	万	2000	点
で	体	験	コ	ー	ス	ー	で	は	石	な	ど	を	触	る	こ	と	が	で	き
ま	す	。	と	て	も	見	応	え	が	あ	り	ま	し	た	。				
最	終	日	は	、	北	海	道	博	物	館	に	行	き	ま	し	た	。	こ	
こ	に	は	、	大	き	な	ナ	ウ	マ	ン	ゾ	ウ	と	マ	ン	モ	ス	の	は
ど	せ	い	が	あ	っ	て	り	っ	の	展	示	コ	ー	ス	ー	が	あ	り	ま
し	た	。	ア	イ	ヌ	民	族	に	っ	い	て	と	か	、	昔	か	ら	今	ま
こ	の	歴	史	な	ど	と	て	も	勉	強	に	な	る	も	の	ば	か	り	で
す	ご	か	っ	た	で	す	。												
こ	の	事	業	を	通	し	て	、	家	族	と	の	時	間	は	大	切	に	
し	な	け	れ	ば	な	ら	な	い	も	の	だ	な	と	改	め	て	実	感	し
ま	し	た	。																

北海道で学んだこと、楽しかったこと

未来委員会 高田 莉子

一日目

十一時二十分に松本空港集合、出発式が始
まった。私は、不安がいっぱいだった。なに
しろ、北海道に行くのは初めてだし、飛行
機には一回だけ乗ったことがあるけど、それ
がボーオのときだったからだ。出発式をすませ
荷物けんさを終わらせ、ボーオのとき以来の飛
行機に乗り込んだ。席にすわり飛行機が離陸。
陸をはなれたと実感できた。最初はこれかっ
たけれど、すこしなれてまじから下をのぞく
と、とても景色がきれいだった。なので、カ
メラにその景色をおさめておいた。一時間三
分くらい飛行機に乗って景色を楽しんだ。そ
して、飛行機をおりホテルハシモトに大きな
荷物をおき札幌市の市内見学が始まった。ま
ず、松本市とはちがうところを発見した。そ
れは、信号機がたてということだ。で
も、その信号機にもこまがあったものだ。

それは、北海道は冬になると雪がたくさんふ
るの。で信号機の上に雪が積もってしまふとい
う点だ。昔は、L・E・Dではなくでんきで信号
機を動かしていたので雪が積もってもでんき
の力で雪はとける。だけど、今はL・E・Dで信
号機をうごかしているの。で雪がとけないらし
い。もうひとつわかったことがあった。それ
は、百十メートルおきに道路があるというこ
とだ。ちゃんと道路にも、中点地点から何メ
ートル進んだか表示があるので分かりやすい。
そこが、松本とはちがう。そういうことを聞
いて、いるうちに楽しくなった。いっばい歩い
て札幌駅に着き、テイッシュ配りをした。札
幌駅前はとても人がいるのでテイッシュ十五
こくういなら、かんたんに配れるだろうと思っ
ていた。う、そんなかんたんなものではなか
った。もう、てくれない人もいたの。でちよつと
心がいたかった。あまり配れずにいたら手伝
うてくれる友達が、とてもいたの。でうれしか
った。そして、夜ごはんは海鮮丼。今日一日の

つかれをいやしてくれた。

二日目

二日目は、札幌市奈井江町の子たちとの交流だ。わたしは、うまくしゃべれるかしんはいだった。そして、交流が始まった。じこしうかいがおわり、じょうけいのしせつにいき足湯にも入った。そのしせつは、じょうけいのことをしらなくておんせんにきている人たちにしてもらおうと、このしせつもたてたようだった。その後、カヌー体験をしたりとても楽しかった。昼食を食べグルーパワーをして大紙にまとめる時みんなでいっしょうけんめい意見をだしたり、おもしろかった。札幌市、奈井江町の子たちは、とてもやさしくしてくれたし、わたしがこの札幌子ども交流事業で一番バに残った。

三日目

朝早くから市場に行つて見学をした。この

時期はまぐろのせりがおこなわれていた。三
 年生のときも市場にいったが、そのときより
 も活気があって、こちらも楽しくなってきた。
 そして、大倉山ジャンプ台に行った。てっパ
 んまでいくと、とてもみはらしがよく気持ち
 がよかった。そして、リフトでおりオリンピ
 ックミコジウムに行った。わたしは、ホリ
 ンピックにきょうみがあるので見学してい
 てもたのしかった。昼食をすませて北海道
 大学、雪印メグミルクに行った。どちらもよ
 い勉強になった。
 四日目
 最後の札幌子ども交流事業。北海道博物館
 でアイヌ人のことを知れたり、北海道の歴史
 を学んだりできてよかった。それで空港内の
 ホテルで昼食にしておみやげを買った。そし
 て、飛行機にのった。もう、なれたのでこれ
 くらいなかつた。この札幌子ども交流事業がこれ
 からの自分の人生につながると思う。

札幌子ども交流事業の感想

滝澤 智貴

7月31日から8月3日までの札幌で、楽しかったこと。すごいなと思、たことはたくさんあります。

1日目で、すごか、たのは、飛行機からみた景色です。理由は、飛行機に乗るのは、初めてだ、たので、こんな高い場所から県の形がは、きりとみえていたからです。楽しかったことは、札幌駅でのティッシュ配りです。札幌にはいる人たちに、松本のティッシュを配れたからです。

2日目で、すごいと思、たことは、札幌市と、奈井江町の子どもたちがたくさんいて、びっくりしたことです。北海道に、こんなに人がいるなんて思、ていなか、たからです。楽しかったことは、札幌市、奈井江町の子たちと、カーニ体験をしたことです。カーニをや、たことがないので、ちゃんとこげるか心配だ、たけど、上手くコントロールができて

よかったです。

3日目です。よかったことは、札幌中央卸売

市場にいて、青果せり、まぐろの解体を

みられたことです。朝はやくからせりをして

いたので、とても大変そうでした。次に、オ

リンピックミュージアムがすごかったです。

オリンピックのメダル、オリンピックの競技

をゲームで体験できたりしたからです。

楽しかったことは、雪印メグミルクの酪農と

乳の歴史館です。牛乳からできるものや、紙

パック牛乳、ビン牛乳がどうやって作られ

るのか分かって良かったです。

最終日は、北海道博物館です。いろんな展

示物や、実験をしたりする道具に、北海道を

もっとと学べるクイズなどもあり、とても楽

しかったです。

4日目までが終わって、札幌子ども交流事

業は、終わって、とても楽しい、交流事業に

なっていました。

ぼくは、この札幌交流事業で、札幌の子と

奈良江町の子どもたちと仲よくなれたのでよかったし、いろんなところを未来委員会の子どもたちといけたのでよかったです。

交流事業をふり返って

橋本 昂賢

僕は七月三十一日から八月三日までの四日間、札幌子ども交流事業に参加しました。その中で特に思い出に残っているものが三つあります。

一つ目は、札幌市と奈井江町の子どもたちとの交流です。交流では、定山溪のPRの方法について意見を交換しました。参加した人からは、SNSの活用や、子どもが喜ぶイベントを実行するなどの意見が出されました。

この意見交換会をとおして、札幌市と奈井江町の子どもたちと交流を深めることが出来ました。

二つ目は、札幌中央卸売市場の見学です。市場の中にあるスイカやサワランホの量が多く、自分が考えていたものよりずっと大きく、迫力がありました。また、松本の市場には、コウロなどの水産物は少ないですが、札幌中央卸売市場は水産物がとても多く、その差は歴然でした。さらに、札幌中央卸売市場は、

水産物を多く扱っているためか、とても清潔感がありました。

三つ目は、雪印×グミル酪農と乳の歴史館の見学です。粉ミルクを作る機械がとても大きかったり、牛乳を運ぶパイプがたくさんあったりして、とても驚きました。

見学した工場でしか作っていない「カツゲン」というヤクルトのような乳飲料を見学の最後に飲んだら、とてもおいしかったです。北海道でしか販売されていない事を知って、

長野県にも販売してほしいと思いました。

また、僕は、駅周辺や観光施設で、どのような花壇作りをしているのか見てみたいと思っています。なりました。なぜなら、地元の人や、観光客の目を楽しませる工夫があるのかという事を知れたかったからです。実際に見てみると、松本と比べて、特別な違いはなかったように感じました。猛暑のためか、大通り公園の花はだいぶしおれていましたが、松本に帰ってきて、街中の花を見たら、元気にイキイキ咲

いていたので、花に水をあげている人たちの存在を強く感じる事ができました。

札幌は、松本にはないものがたくさんありました。おいしい農海産物がたくさんとれる事や、街の大きさは比較になります。札幌にはなくて、松本にあるものは何かと考えてみると、やっぱり国宝松本城や花いっぱい運動発祥の地という事が頭に浮かびました。

僕はこの交流をとおして、札幌には札幌の、松本には松本の、それぞれ良さがある事を知る事ができました。

北海道へ行ってきた感想

藤山 悠理

北海道へ行ってきて分かった事がいくつかあります。まず一つ目は、札幌市に行くときて気づいた事は、札幌にはPRポイン
トがいっぱいあった事です。例えば食べ物とう
では、海せんどんや魚は松本にりしんせんだ
たし、ジンギスカンはしゃかりとしたおいし
さでとてもおいしかったです。かんこうとうな
らテレビというは松本にはないぐらいに高くて、
赤しんが庁舎は松本じゃうより昔ではないけ
どかんじさせてすごいななどです。2つ
目は、札幌には雪でしんごうがみえなくな
たりしないようにする工夫があつたりしてあ
たことです。例えばしんごうに雪がつもりにく
くするためにたてにならんでいたりしていた
ことです。これには少しびっくりしました。
3つ目は、テイクッシュユくぼりの時に松本の事
を知っている人が思ったよりいた事でじつた。
その他にも分かったことはありましたが、し

くにおぼえこるのはこの三つです。また、
自分の目標だったれきしを学ぶこと、ことば
をすることや、友だちをつくることはたっせ
いできたのでよかったです。そして見学で一
者上だったのは、北海道大学総合博物館であ
り、また、その中で一番おもしろいと思っ
た物は、イナズマボールです。本当の名前は
おぼえていません。どうしておもしろい
かというと、さわるとうきにでんりゅうが
きます。でもさわってもいたくありません。
でも、その手やうでにちがう人がさわると
バチッとせいでんきがいきます。うに
がさわるのでびっくりしておもしろ
いとおもえたからです。2番目におもしろ
かったのは、さわったりできるかせきユー
ス1でした。もともとがヤキなではな
きでした。のび、さわったりできると
すごかったのしかったです。か
らです。3番目におもしろかったのは、
北海道です。これはとくにかんけい
ないけど、みなで協力してやれた
ので、たのしかったです。その他にも
色々な所へ行き、北海道のた

きしなむしれたりしたのでよかったです。

北海道にはまだまだしがないところがあるか
らもとしりたいたいと思いました。いかせても
らったよかったです。

札幌へ行。て印像に残った二と

宮島 陸

ぼくは北海道・札幌へ行。て印像に残った
ことは三つあります。

一つ目は定山溪カヌー体験です。理由は、
このカヌーを通して札幌に新たな友達ができ、
またここカヌーの後にあった食事でも更に、
伸を深めることができたからです。また、こ
の定山溪のカヌーを上高地に取り入れればど
うかと思ひ上高地に観光としてとり入れてみ
たりすれば観光にくる人も増え、お金も松本
に回ると思ひます。

二つ目は北海道大学です。北海道大学では、
各研究チームが研究しているものを見せて
くれたり、実際にふれたりしたりする二
とができます。この数多くの出し物の中で、
一番印像に残ったのは工学のプラズマボール
です。プラズマボールとは丸い球体に超高電
圧の電気圧をかけてボールにさわるとボール
の中心からプラズマが手に向けて出てきます。

また、このプラスモバイルは他の人がプラスモバイルをさわっている間その人の手にはさわらないでください。その人の手にさわると強い静電気が起きるのでやめてください。二の北海道大学ではやすらぎの場所や生き物の住む環境があり、生き物もたくさん住んでいます。ます。

三つ目は大通公園にあるテレビとうです。このテレビとうでは昔はテレビの電波を出していたそうですがたくさん建物が造られ、このテレビとうからはとどかないはんいになり今は別の鉄とうがやっています。テレビとうは今では観光スポットになっています。このテレビとうは、中におみやげ屋や飲食店もありテレビとうの中で食べることもできます。更に、このテレビとうで最も高い所では夜景はきれいでした。ぼくは、友達にすすめられてテレビとうの窓によりかかって窓を見るとその部分が突き出ていたのもので、すここわかったです。

20 × 20

今回この札幌に行って楽しいこともあった
し松本市に生かすこともあるので提言をし
かりしていきたいと思います。

20 × 20

札幌市子ども交流事業

7月31日から8月3日までの3泊4日

★1日目

出発式→松本空港発→新千歳
空港着→札幌市内散策→札幌駅
でティッシュ配り→テレビ塔見学

★2日目

2枚目に書いてあります

★3日目

札幌中央卸売市場着→青果・
まぐろ競り見学→大倉山ジャン
プ台見学→オリンピックミュー
ジウム見学→北海道大学見学→
雪印メグミルクと酪農と乳の歴
史館



大倉山
ジャンプ台
にて



北海道大学
クラーク博士像の
前にて

★4日目

北海道博物館見学→新千歳空
港着→おみやげタイム→新千歳
空港発→松本空港着→解散式

札幌奈井江町子ども交流

2日目 ～3まち子ども交流～

内容

オリエンテーション
体験・見学(カヌー体験)
グループワーク(意見交換)



グループ発表(提言)



カヌー体験



かっぱんど
いっしょに



カヌー
体験

提言の内容

見学や体験をして印象に残ったこと。気づいたこと。
みんなが温泉ホテルの支配人だったら、どんなアイデアでホテルを
PRするかと話し合う。⇒キャッチコピー、スタッフの優しい対応
と客が来たとき明るいふいんきであればまたくると思う。
たくさんさんのひとが定山溪に来て楽しんでいい思い出が残るようにと
んな魅力づくりや工夫⇒幅広い年代が楽しめる体験 ガイド無料サ
ービスと年代に合わせたグッズの配布をしたらいいと思う。
どんなPRをするか？
★自分たちにできること⇒ロコミ、子どもがガイドをする、新聞
配り、ポスターを作る
★大人や役所と協力してできること、やっぱりいいと思うこと⇒
空港のTVで突然CM流す、ティッシュ配り

見学した の 紹介

<飛行機が煌(を航)>



飛行機からは、佐渡ヶ島、男鹿半島、田舎が見えた。

機内では、昼食を食べたり、新聞を読んだりして、ゆったりも過ごした。

<大通公園>



大通公園では、ガイドさんの話を聞き、明治元年には人口が10人だった札幌に今では松本市の8倍の196万人が住んでいる事を知った。

<旧道庁前>



旧道庁では、ガイドさんの話を聞いた。昔はここで天気予報を教えていた。

(例) <もり(赤)>

雪(みどり)



<北海道大学総合博物館 (マモス)>

北海道大学総合博物館では、さわれる化石コーナーなどがあり、楽しい時間をすごした。また、色々な研究紹介などがあり色々な事を知った。



テレビ塔は、番地の中にあって、テレビ塔を真ん中に、110mの間かくで町が区切られている。



<左:テレビ塔(昼)>

<右:テレビ塔の夜景>

テレビ塔からの夜景は日本三大夜景の1つに選ばれている。

<オリンピックミュージアム (スノーランド)>



オリンピックミュージアムでは、歴代のオリンピックのメダルの複製がカざってあった。また、スキージャンプ、ボブスレー、クロスカントリーなどの体験型ゲームがあった。

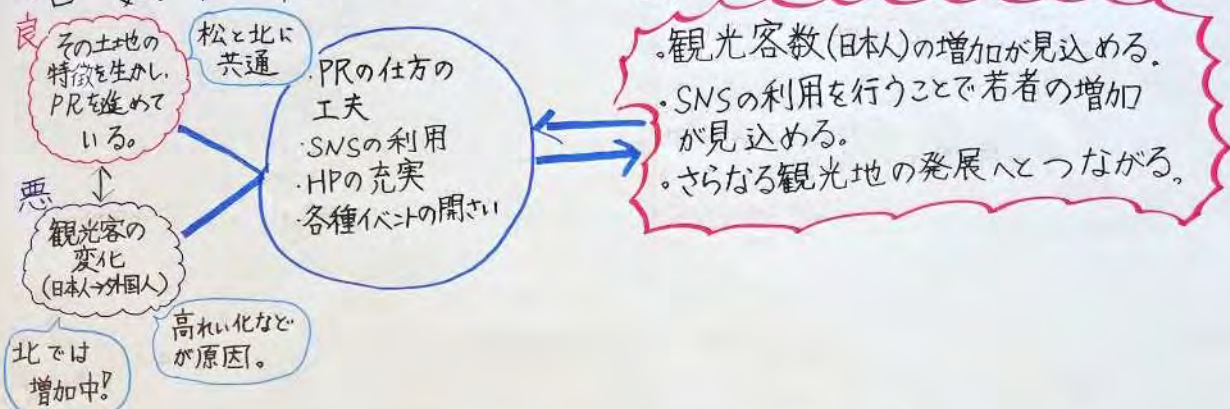


<ティッシュ配の札幌駅前>

ティッシュ配りは、積極的にいれくらん配る人からそんな人に助けられる人まで様々な人だ。受け取ってくれたのは、中高生からおじいちゃん・おばあちゃん、年輩も若れの人が多かった。

~4日間のまとめ~

2日目の交流会では、北海道の温泉地である「定山溪」のPRについて考え、松本と重なる所がいくつかあった。松本には「浅間温泉」があり、共に観光客数に悩んでいる。



上の図のように活動を進めることで松本がより良くなる!

~参加者の感想~

今回の交流会で、松本市と定山溪市との交流が、とても楽しかったです。定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

市川真帆

今回の交流会で、松本市と定山溪市との交流が、とても楽しかったです。定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

松本晶

今回の交流会で、松本市と定山溪市との交流が、とても楽しかったです。定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

松本晶

今回の交流会で、松本市と定山溪市との交流が、とても楽しかったです。定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

宮部隆

今回の交流会では、定山溪の発見があり、これからの活動に生かせる貴重な体験となりました。北海道を行われている事業など、勉強させて頂くことができ、この経験を大切にしようと思います。

井堀莉乃

札幌市と定山溪市と交流して、たくさん意見交換ができた。札幌市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

市川真帆

今回の交流会で、松本市と定山溪市との交流が、とても楽しかったです。定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

松本晶

今回の交流会で、松本市と定山溪市との交流が、とても楽しかったです。定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

松本晶

今回の交流会で、松本市と定山溪市との交流が、とても楽しかったです。定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

松本晶

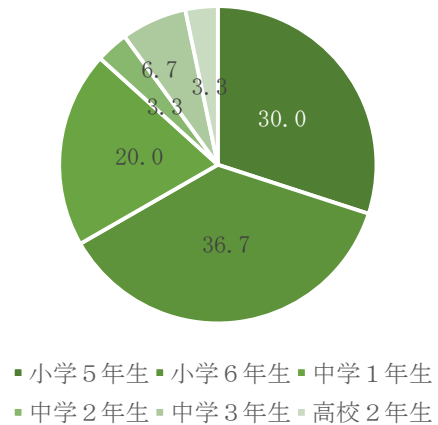
初めての定山溪市訪問! 松本市と定山溪市との交流が、とても楽しかったです。定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。また、定山溪市の方から、温泉地としてのPRの仕方について、とても勉強になりました。

市川真帆

5 未来委員会初回アンケート結果（回答者数35人中30人）

(1) 属性

	人数	割合(%)
小学5年生	9	30.0
小学6年生	11	36.7
中学1年生	6	20.0
中学2年生	1	3.3
中学3年生	2	6.7
高校2年生	1	3.3
合 計	30	100.0

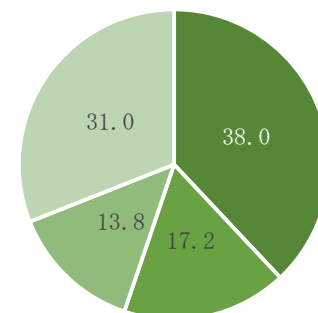


(2) 委員会に参加したきっかけ

	人数	割合(%)
楽しそうだったから	11	38.0
お家の人にすすめられたから	5	17.2
なんとなくやってみたかったから	4	13.8
その他	9	31.0
合 計	29	100.0

【「その他」の自由記述】

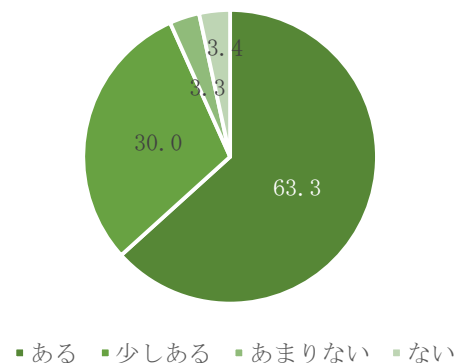
- ・ 友達に誘われたから。
- ・ 去年も参加していて楽しかったから。
- ・ 政治や経済が好きだから。
- ・ 新しいことにチャレンジしてみたかったから。



- 楽しそうだったから
- お家の人にすすめられたから
- なんとなくやってみたかったから
- その他

(3) 松本市への興味・関心

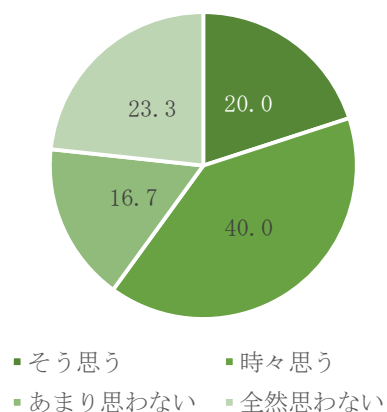
	人数	割合(%)
ある	19	63.3
少しある	9	30.0
あまりない	1	3.3
ない	1	3.4
合 計	30	100.0



- ある
- 少しある
- あまりない
- ない

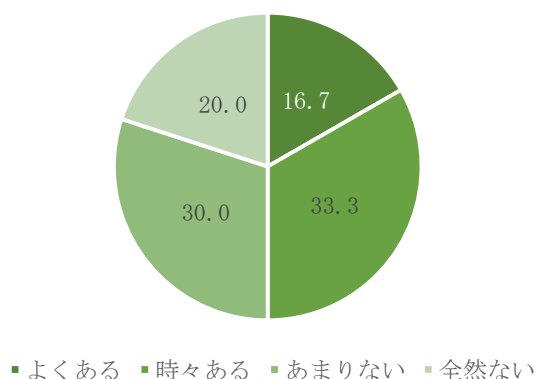
(4) 人前で意見を言うことを恥ずかしいと思うか

	人数	割合(%)
そう思う	6	20.0
時々思う	12	40.0
あまり思わない	5	16.7
全然思わない	7	23.3
合 計	30	100.0



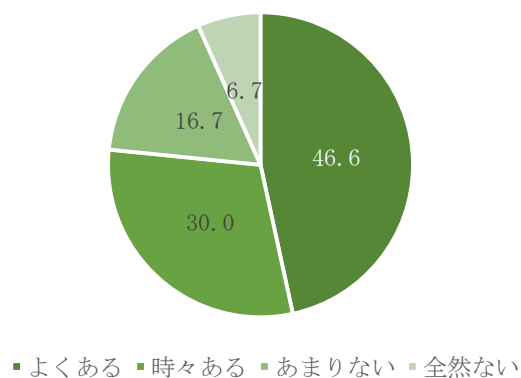
(5) 自分の言いたいことを言えないことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	5	16.7
時々ある	10	33.3
あまりない	9	30.0
全然ない	6	20.0
合 計	30	100.0



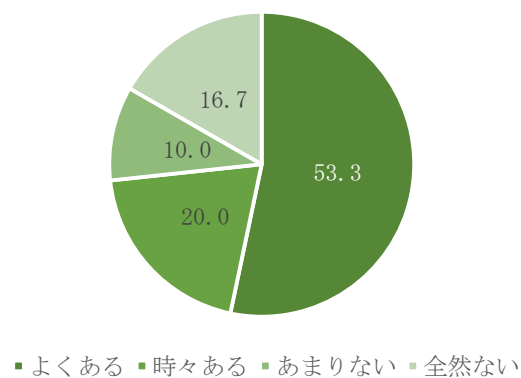
(6) 家庭で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	14	46.6
時々ある	9	30.0
あまりない	5	16.7
全然ない	2	6.7
合 計	30	100.0



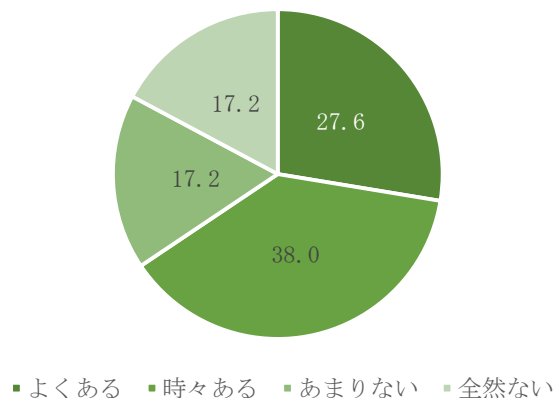
(7) 学校で、先生に自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	16	53.3
時々ある	6	20.0
あまりない	3	10.0
全然ない	5	16.7
合 計	30	100.0



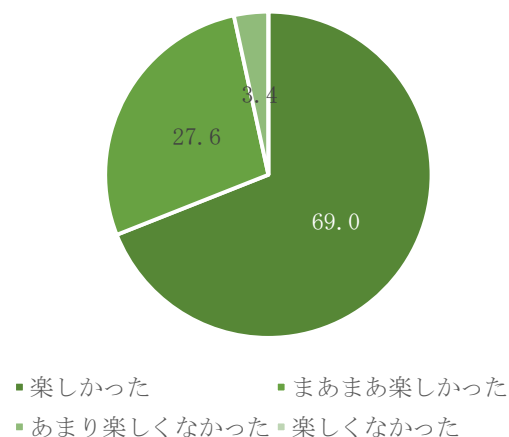
(8) 地区で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	8	27.6
時々ある	11	38.0
あまりない	5	17.2
全然ない	5	17.2
合 計	29	100.0



(9) 初回の委員会の感想

	人数	割合(%)
楽しかった	20	69.0
まあまあ楽しかった	8	27.6
あまり楽しくなかった	1	3.4
楽しくなかった	0	0.0
合 計	29	100.0



【自由記述（一部抜粋）】

ア 楽しかった

- ・ これからこんなことをしていくんだとワクワクした。
- ・ 松本市の事の話合いがたのしかった。

イ まあまあ楽しかった

- ・ あまり小学生と話したりしないので、意見が聞けて楽しかったです。

ウ あまり楽しくなかった

- ・ 雰囲気が固い。チームの話が進まない。

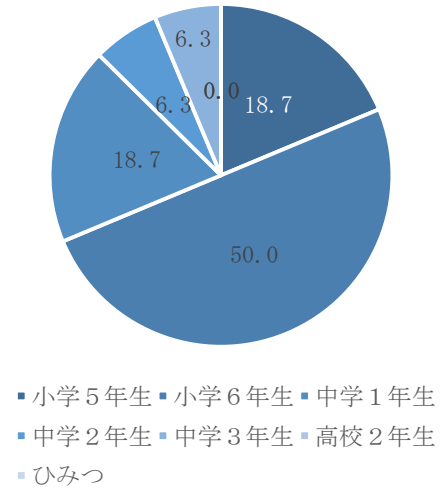
(10) 初回の感想（一部抜粋）

- ・ 自分の考えをちゃんと言えた。
- ・ 具体的な活動をもっとしたい。
- ・ これから毎回頑張っていきたいです。
- ・ 楽しかった。次の委員会も楽しみ。未来委員会に入ってよかったと思った。
- ・ 子どもの権利について知れてよかった。オークションゲームがとても楽しかった。
- ・ 言われた事をやっただけなので別にとても楽しかったというわけではないが、まあ普通だった。みんなの名前を早く覚えてなじめたらいいと思う。
- ・ 友達も作れそうだし、とても楽しくて良かったです。これからさらに色んな事があるので、良い都市になるように頑張りたいです。

6 未来委員会最終回アンケート結果（回答者数32名中16名）

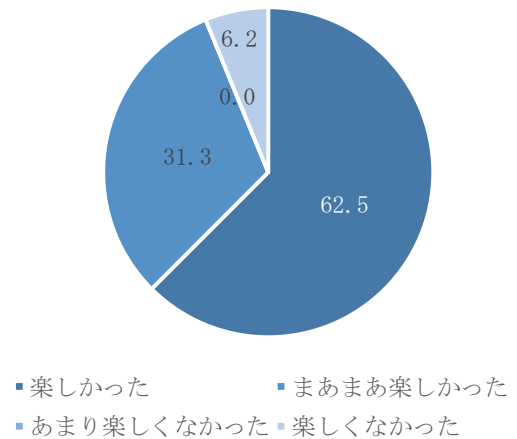
(1) 属性

	人数	割合(%)
小学5年生	3	18.7
小学6年生	8	50.0
中学1年生	3	18.7
中学2年生	1	6.3
中学3年生	1	6.3
高校2年生	0	0.0
ひみつ	0	0.0
合 計	16	100.0



(2) 委員会の感想

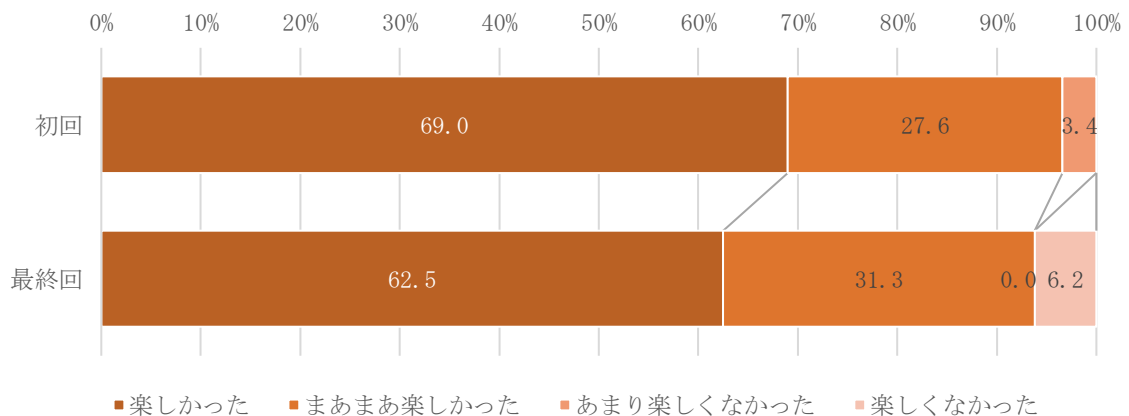
	人数	割合(%)
楽しかった	10	62.5
まあまあ楽しかった	5	31.3
あまり楽しくなかった	0	0.0
楽しくなかった	1	6.2
合 計	16	100.0



【感想自由記述（一部抜粋）】

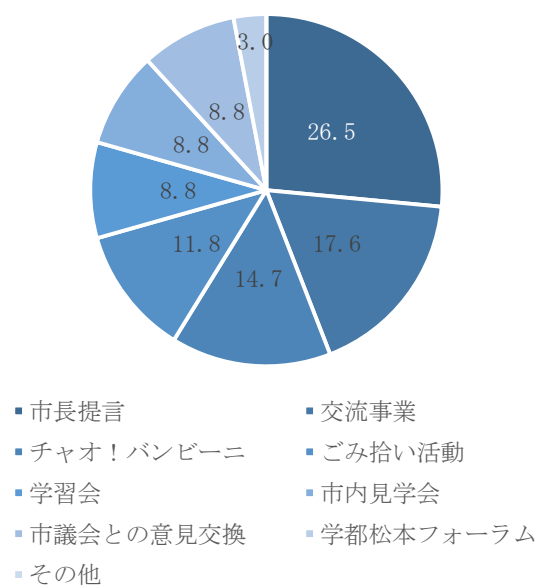
- ・ 色々な行事などがあり、進んで取り組めたから。
- ・ いろんな意見が聞けたから。
- ・ 松本市の未来を考えることは、とてもおもしろく、やりがいがあった。
- ・ 沢山の仲間と出会えて、貴重な体験ができたから。

【初回との比較】



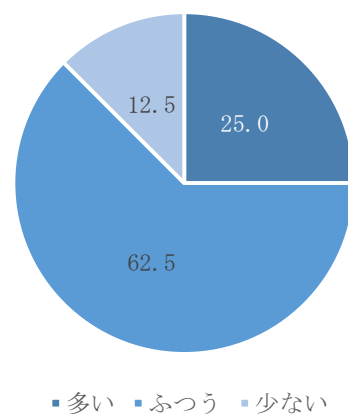
(3) 思い出深いこと（複数回答）

	人数	割合 (%)
市長提言	9	26.5
交流事業	6	17.6
チャオ！バンビーニ	5	14.7
ごみ拾い活動	4	11.8
学習会	3	8.8
市内見学会	3	8.8
市議会との意見交換	3	8.8
学都松本フォーラム	1	3.0
その他	0	0.0
合 計	34	100.0



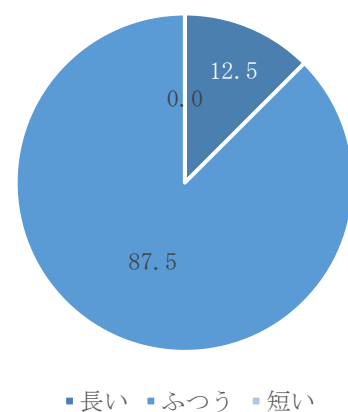
(4) 委員会の回数について

	人数	割合 (%)
多い	4	25.0
ふつう	10	62.5
少ない	2	12.5
合 計	16	100.0



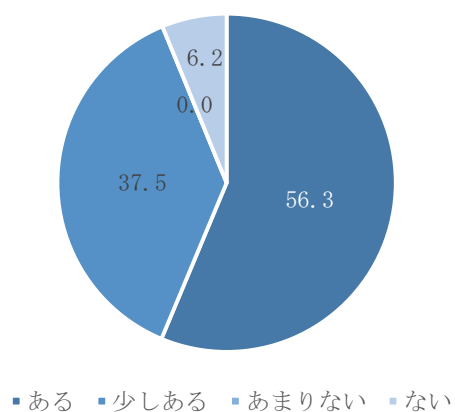
(5) 委員会の時間について

	人数	割合 (%)
長い	2	12.5
ふつう	14	87.5
短い	0	0.0
合 計	16	100.0

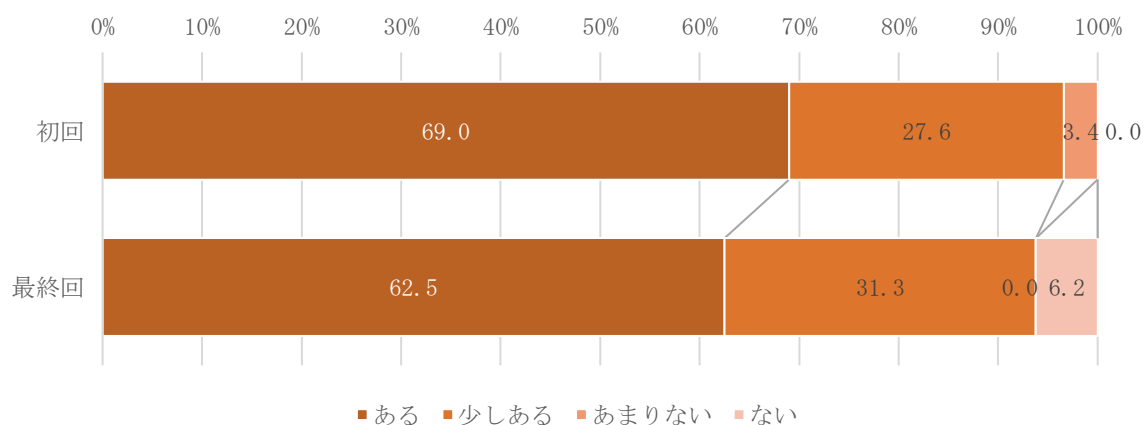


(6) 松本市への興味・関心

	人数	割合(%)
ある	9	56.3
少しある	6	37.5
あまりない	0	0.0
ない	1	6.2
合 計	16	100.0

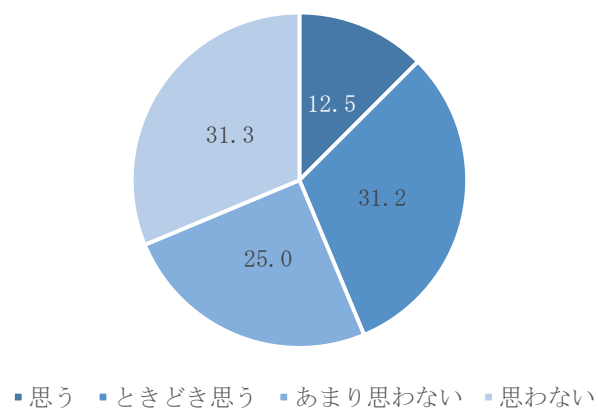


【初回との比較】

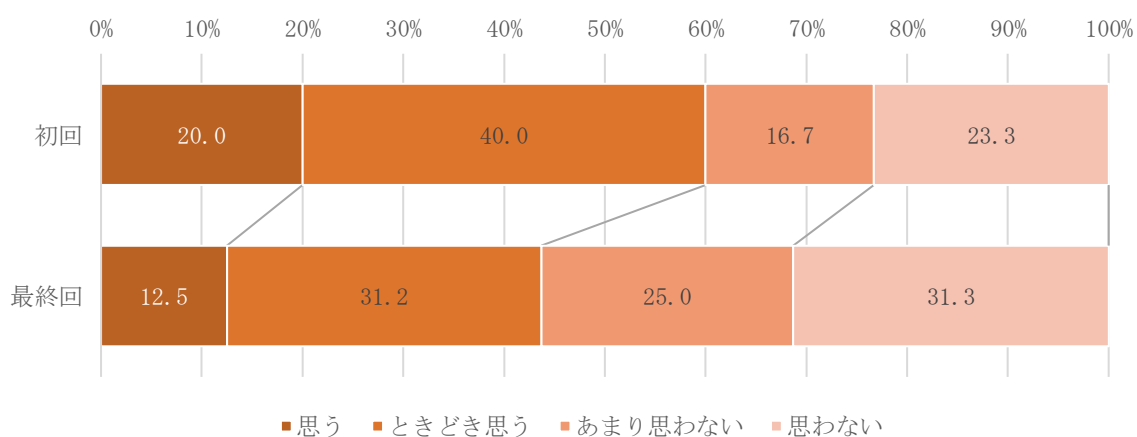


(7) 人前で意見を言うことを恥ずかしいと思うか

	人数	割合(%)
思う	2	12.5
ときどき思う	5	31.2
あまり思わない	4	25.0
思わない	5	31.3
合 計	16	100.0

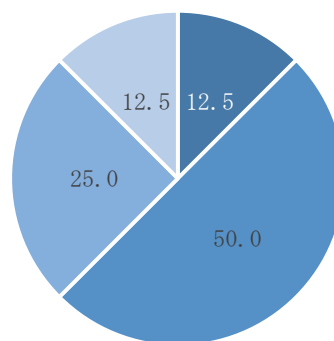


【初回との比較】



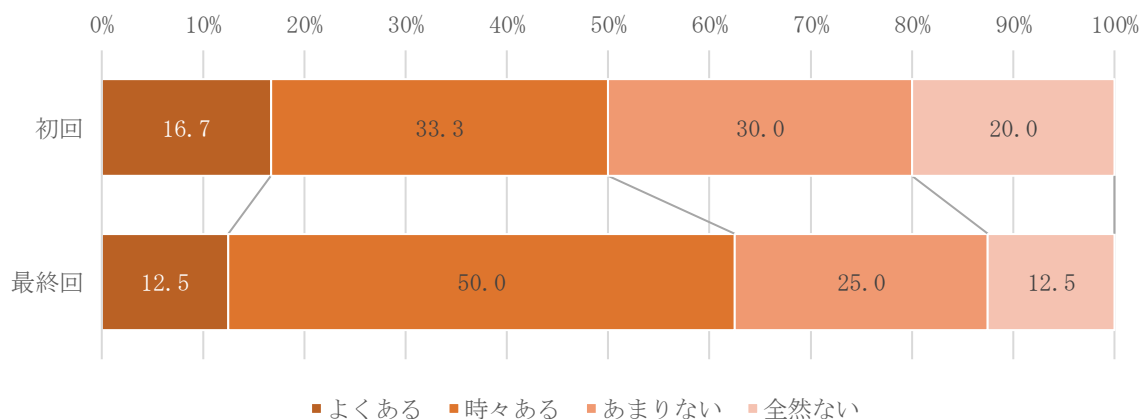
(8) 自分の言いたいことを言えないことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	2	12.5
時々ある	8	50.0
あまりない	4	25.0
全然ない	2	12.5
合 計	16	100.0



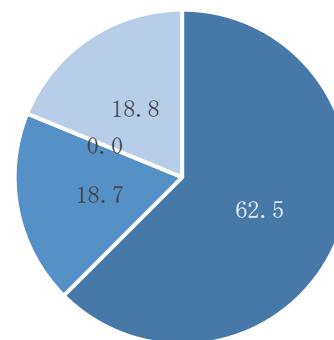
■ よくある ■ 時々ある ■ あまりない ■ 全然ない

【初回との比較】



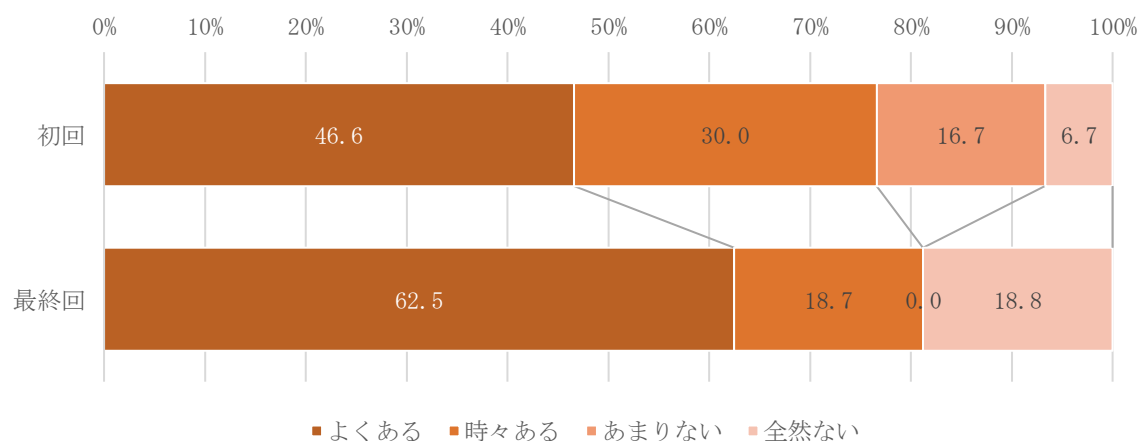
(9) 家庭で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	10	62.5
時々ある	3	18.7
あまりない	0	0.0
全然ない	3	18.8
合 計	16	100.0



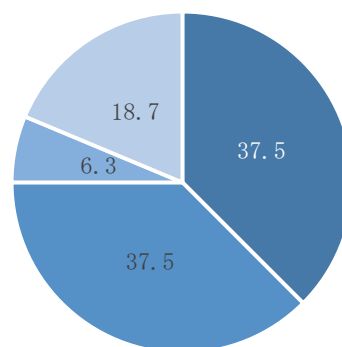
■ よくある ■ 時々ある ■ あまりない ■ 全然ない

【初回との比較】



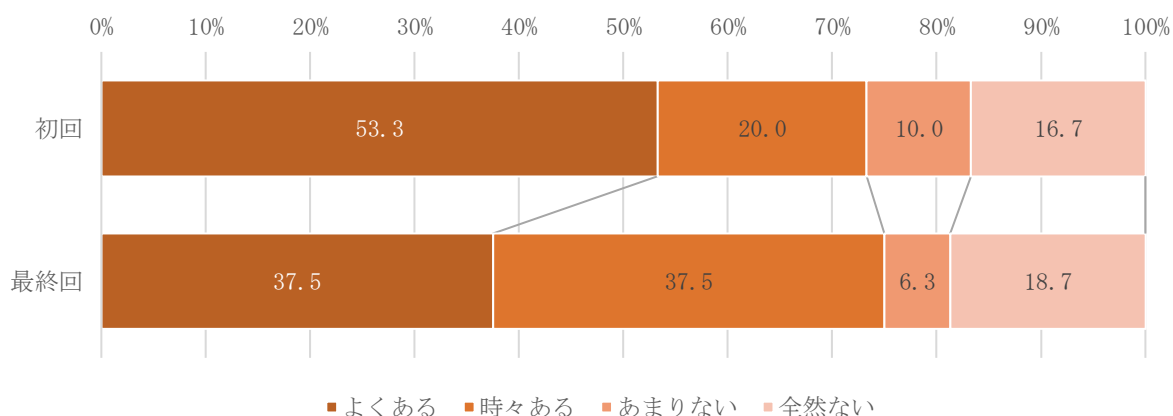
(10) 学校で、先生に自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	6	37.5
時々ある	6	37.5
あまりない	1	6.3
全然ない	3	18.7
合 計	16	100.0



■よくある ■時々ある ■あまりない ■全然ない

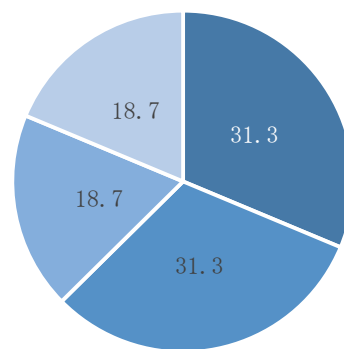
【初回との比較】



■よくある ■時々ある ■あまりない ■全然ない

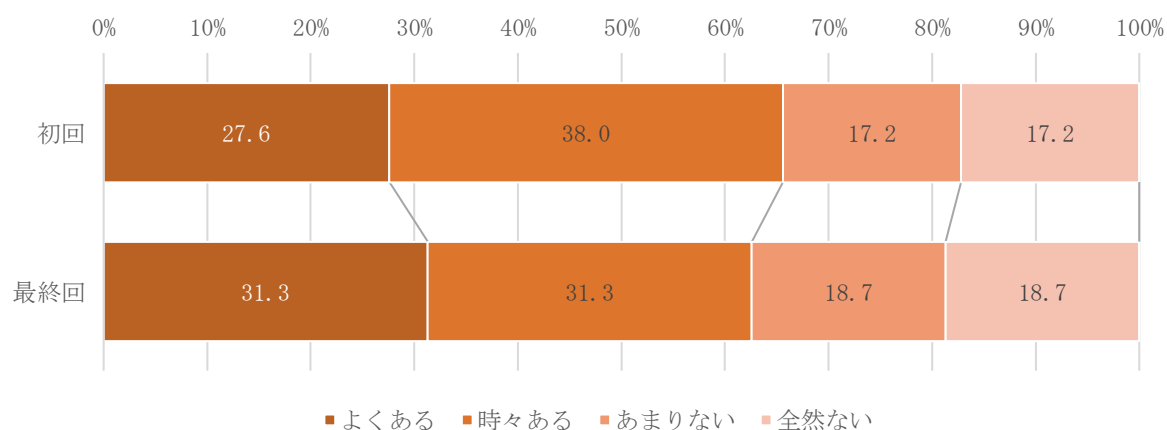
(11) 地区で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	5	31.3
時々ある	5	31.3
あまりない	3	18.7
全然ない	3	18.7
合 計	16	100.0



■よくある ■時々ある ■あまりない ■全然ない

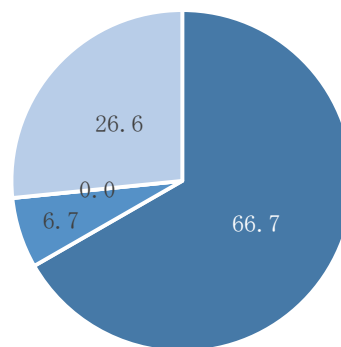
【初回との比較】



■よくある ■時々ある ■あまりない ■全然ない

(12) 第5期委員会に参加したいと思うか

	人数	割合(%)
思う	10	66.7
少し思う	1	6.7
あまり思わない	0	0.0
思わない	4	26.6
合 計	15	100.0



■ 思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない

【継続意思自由記述】

- ・楽しかったけど、部活などで行く機会が少なくなってしまった。
- ・このまま1年間で活動を終わらせてしまうのはもったいない。
- ・自分の意見をたくさん言うことができて楽しい。
- ・いろいろな人と交流できて楽しい。

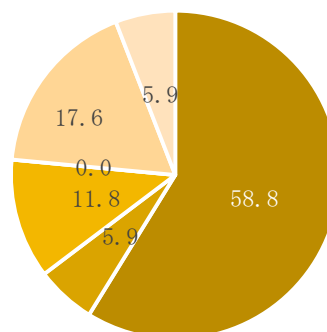
(13) 委員会の感想等（自由記述、一部抜粋）

- ・みんなと話し合えることが楽しかった。
- ・たくさんの友達ができて嬉しかった。小学生と中高生は1人ずつペアを作るともっと良い。
- ・今回は副委員長という大事な役割と担っていましたが、指示がよく通らないことがあったので、次は、副委員長にならなくても、グループの中等での指示はしっかり出せるようにしたいです。進行はわりと良くできたと思います。
- ・もっと地域のお祭りやイベントに参加（出店や企画の司会など）して、松本の方と交流すると、もっと楽しく、面白くなると思う。

7 未来委員会保護者向けアンケート結果（回答者数31名中17名）

(1) 委員会の開催日程

	人数	割合(%)
現状で良い	10	58.8
日曜日の午前が良い	1	5.9
土曜日の午前が良い	2	11.8
土曜日の午後が良い	0	0.0
いつでも良い	3	17.6
その他	1	5.9
合 計	17	100.0



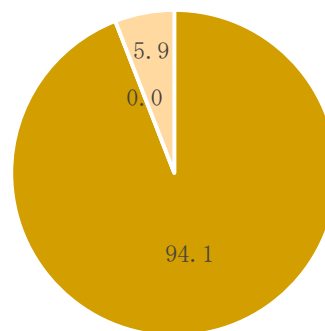
■ 現状で良い ■ 日曜日の午前が良い
 ■ 土曜日の午前が良い ■ 土曜日の午後が良い
 ■ いつでも良い ■ その他

【「その他」自由記述内容】

- ・4月から中学生になるため、土日どちらが良いか、まだ分かりません。

(2) 委員会の回数

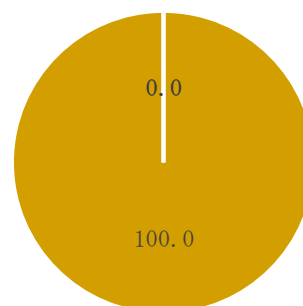
	人数	割合 (%)
現状で良い	16	94.1
増やした方が良い	0	0.0
減らした方が良い	1	5.9
合 計	17	100.0



■ 現状で良い ■ 増やした方が良い ■ 減らした方が良い

(3) 開催場所

	人数	割合 (%)
現状で良い	17	100.0
他の場所が良い	0	0.0
その他	0	0.0
合 計	17	100.0

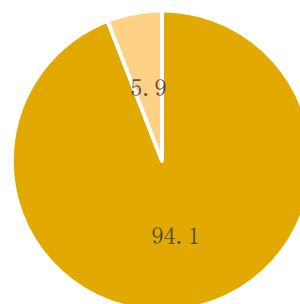


■ 現状で良い ■ 他の場所が良い ■ その他

(4) 委員会に参加したことによる子どもの様子について

ア 変化の有無

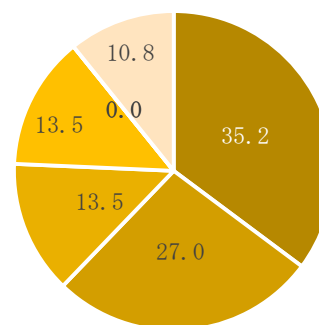
	人数	割合 (%)
あった	16	94.1
特になかった	1	5.9
合 計	17	100.0



■ あった ■ 特になかった

イ 変化の内容（複数回答）

	人数	割合 (%)
松本に興味・関心を持つようになった	13	35.2
人前で発言することに慣れた	10	27.0
家庭での会話が増えた	5	13.5
学校行事等に積極的・自発的になった	5	13.5
家庭や学校で暗い表情が増えた	0	0.0
学校行事等に消極的になった	0	0.0
その他	4	10.8
合 計	37	100.0



■ 松本に興味・関心を持つようになった
 ■ 人前で発言することに慣れた
 ■ 家庭での会話が増えた
 ■ 学校行事等に積極的・自発的になった
 ■ 家庭や学校で暗い表情が増えた
 ■ 学校行事等に消極的になった
 ■ その他

【「その他」自由記述内容（一部抜粋）】

- ・ 学校で児童会での活動やこの委員会での活動で皆の前で話したりする事により抵抗がなくなったように見えます。
- ・ いろんな事にチャレンジしようとするようになりました。（知っている人がいなくても）1人でも参加する事が増えました。
- ・ いろいろな事をみんなで学ぶ中で、松本の事がどんどん好きになっていっています。他の学校の子どもさんと一緒に活動できることも、とても良い事だと思います。

(5) その他感想、今後委員会に期待すること等（自由記述、一部抜粋）

- ・ 中高生がもっと増えるといいなあ…。
- ・ そんなに積極的な子ではないですが、本人なりに色々と考えて参加していたように思いました。
- ・ 小学生の場合、学区外になると、親が連れて行かないといけなくなるので、仕事の時は、休まないといけなくて、その辺を考えてくれれば、もっといろんな方が参加できると思います。
- ・ 今年度の市長への提言は、一般の人も大勢いる中での発表で、未来委員会の事を（存在や活動を）広く知らしめることになったとともに、子ども達もより良いもの、きちんとした発表をしなければならぬと責任感が増して良かったと思う。今後もゴミ拾いや老人ホームへの訪問や自転車に乗る人へのビラ配り（安全な運転）など、部屋で考えるだけでなく、いくつか活動し、その効果を発表したり、それをしたことにより、市長へこうすると良いということがもっと具体的に提言したりできるようになるのではないかと思います。
- ・ 松本への観光客（国内外問わず）の方や他の市町村から松本に派遣されている職員の方々や、派遣されて帰ってきた松本市の職員の方々に、お話を伺える機会があれば、視点が変わって、子ども達が松本について考える一助になるのかな…と。また、子ども達が作成したチラシを松本駅の観光案内所だけでなく、例えば市のPRパンフレットと一緒にはさみ込むなどして、交流事業で訪問する福岡や札幌にも置かせていただけると、良いかもしれないなと思いました。

.....

第4期 まつもと子ども未来委員会
活 動 報 告 集

発行 松本市
編集 松本市 こども部 こども育成課

〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号
電話 0263-34-3291 FAX 0263-34-3309

令和元年5月発行

.....



まつもと子ども未来委員会のマークに子どもたちが込めた思い

- ① 松本を大切にしたい（手の中に松本市）
- ② 笑顔でいっぱいになりたい
- ③ 松本の自然（山・太陽）を描きました